

---

# 情報リテラシーII

(樋口担当)

2回目

10/3

## Webページの作成

はじめる前に

I. ファイルのUP

II. HTMLの基本

III. テキストの記述方法

IV. ハイパーリンク

V. インラインイメージ(画像)

VI. 表

VII. 課題

# はじめる前に

# 1. サーバー

日本工業大学は**学生用のサーバ**を用意

(注)サーバーとは？

サービスを提供するコンピュータの一般的な呼び方

学生用サーバーでできること

- ①電子メールの送受信(メールサーバー)
- ②ホームページの配信(Webサーバー)
- ③ファイル転送(FTPサーバー)
- ④時刻の配信(NTPサーバー)
- ⑤ホスト名・ドメイン名とIPアドレスの関連付け(DNSサーバー)

Webサーバー名 : sstu.nit.ac.jp

# 2. ホームページの公開方法

学生用サーバーの特定の場所にデータファイルを置く

場所 : ホームフォルダの中のpublic\_htmlフォルダ

データファイル名 : **index.html**

トップページ(一番の大元のページ)のデータファイル名別の名前はダメ!

ホームページのアドレス:  ~s学籍番号

[http://sstu.nit.ac.jp/~s1144\\*\\*\\*/index.html](http://sstu.nit.ac.jp/~s1144***/)

あるいは

[http://sstu.nit.ac.jp/~s1144\\*\\*\\*/](http://sstu.nit.ac.jp/~s1144***/)

(フォルダを指定した場合は, index.htmlが表示される.)

(注)ものづくり環境学科の学生は

[http://sstu.nit.ac.jp/~p1146\\*\\*\\*/index.html](http://sstu.nit.ac.jp/~p1146***/)

# 3. データファイル作成

これさら作成するWebページのデータファイルを作成する

(1) データファイルを格納するフォルダの作成

「ホームフォルダ」中の「ドキュメント」フォルダ中に  
「homepage」フォルダを作成し、ここにデータファイルを格納する

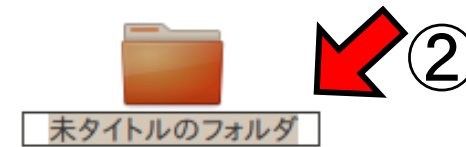
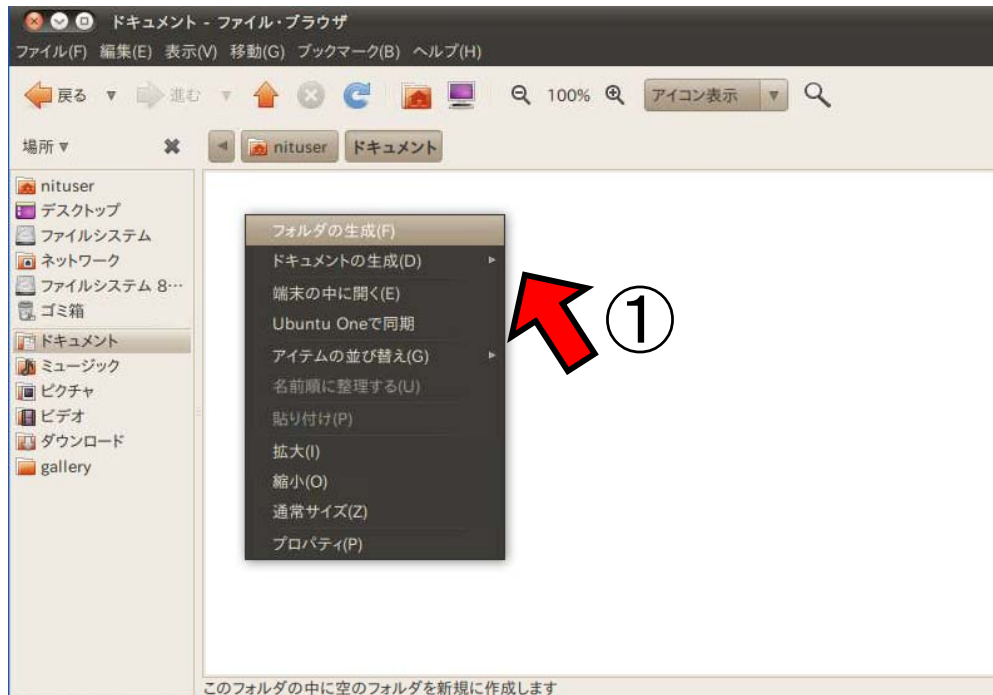


①「場所」をクリック→「ホームフォルダ」をクリック

②「ドキュメント」をクリック

# 3. データファイルの作成

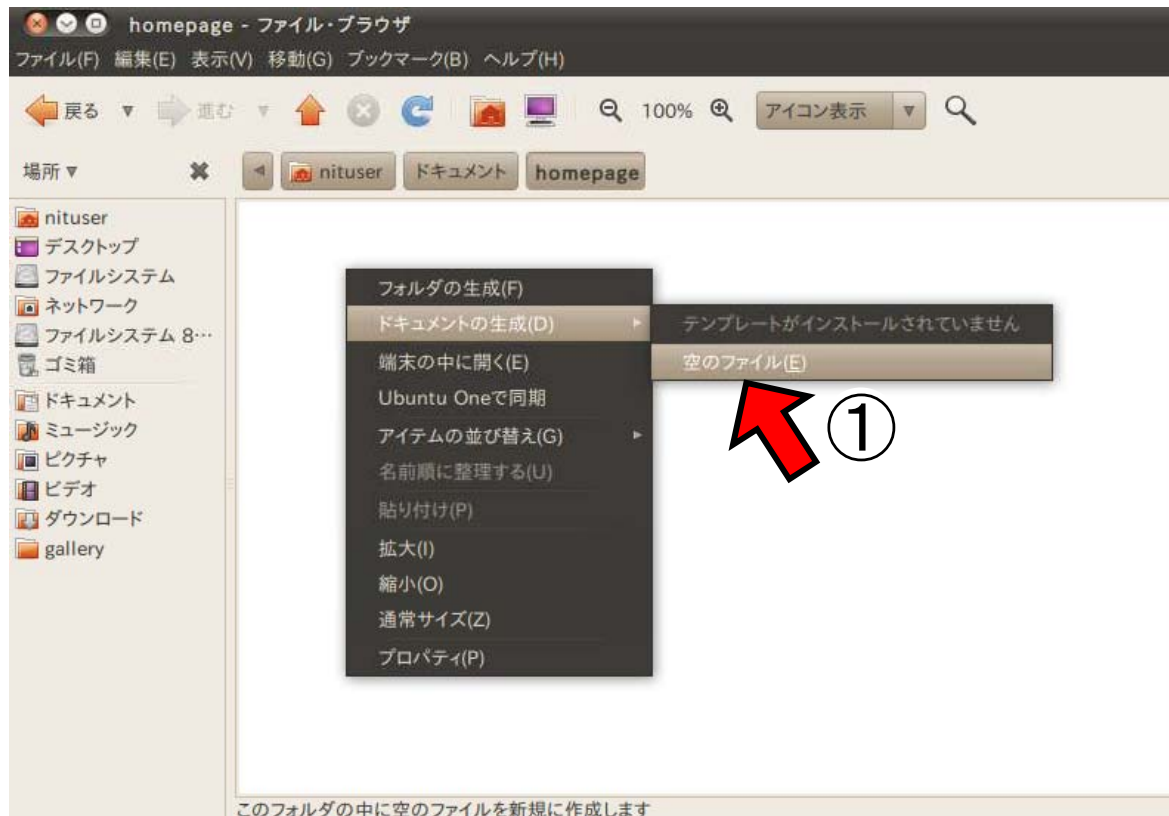
## (2)「homepage」フォルダの作成



- ①右クリック→「フォルダの生成」
- ②「未タイトルのフォルダ」という名前のフォルダが作成される
- ③「homepage」という名前を付ける→このフォルダをダブルクリック

# 3. データファイル作成

## (2) Webページのデータファイルの作成

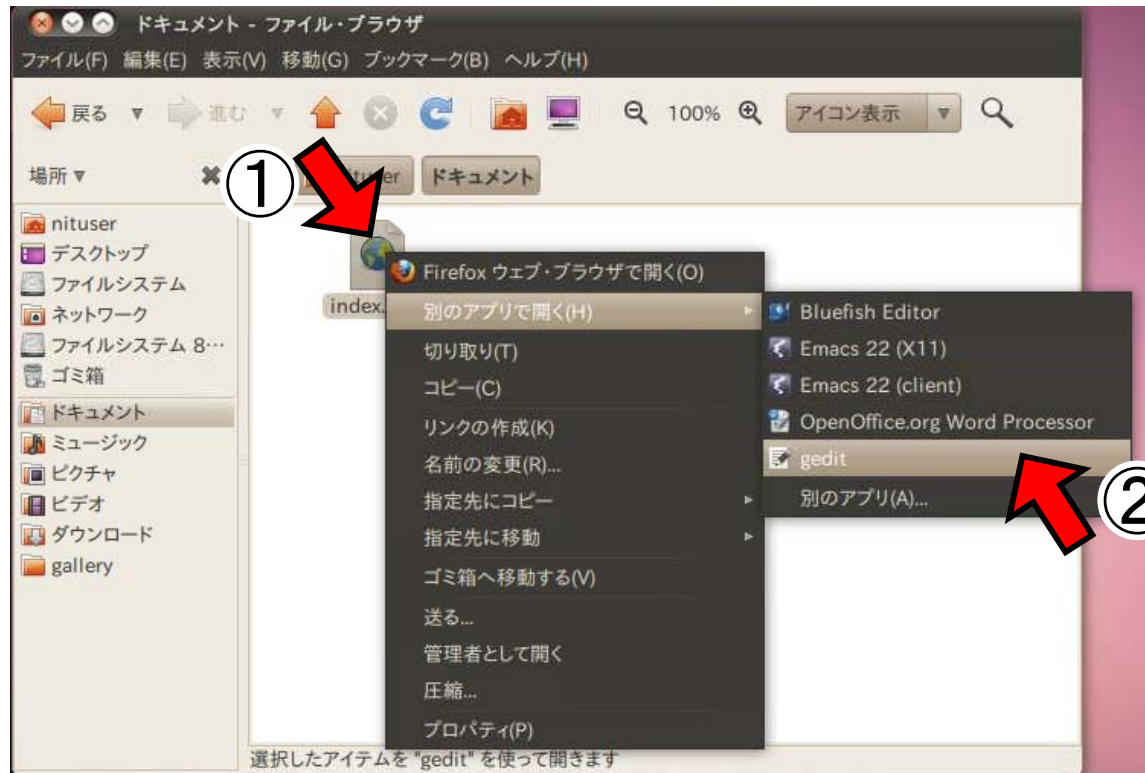


- ① 右クリック→「ドキュメントの生成」→「空のファイル」をクリック
- ② 「新しいファイル」という名前のファイルが作成される
- ③ 「index.html」という名前を付ける
- ④ ファイルのアイコンが地球になる



# 4. データファイルの編集

データファイルを編集するためにエディタ(gedit)で開く



①アイコンの上で右クリック

②「別のアプリで開く」→「gedit」をクリック

注: アイコンをダブルクリックするとブラウザ(FireFox)が起動して結果が表示され, 編集はできない.

## (1)データファイルの作成

### ①大学のPCを利用している人

自分のデータ用USBメモリの中に「index.html」ファイルを作成

### ②自分のPCを利用している人

(a)「My Document」フォルダの中に「homepage」フォルダを作成

(b)「homepage」フォルダの中に「index.html」ファイルを作成

## (2)データファイルの編集

### ①「index.html」アイコンを右クリック

### ②「プログラムから開く」→「Notepad」または「WordPad」をクリック

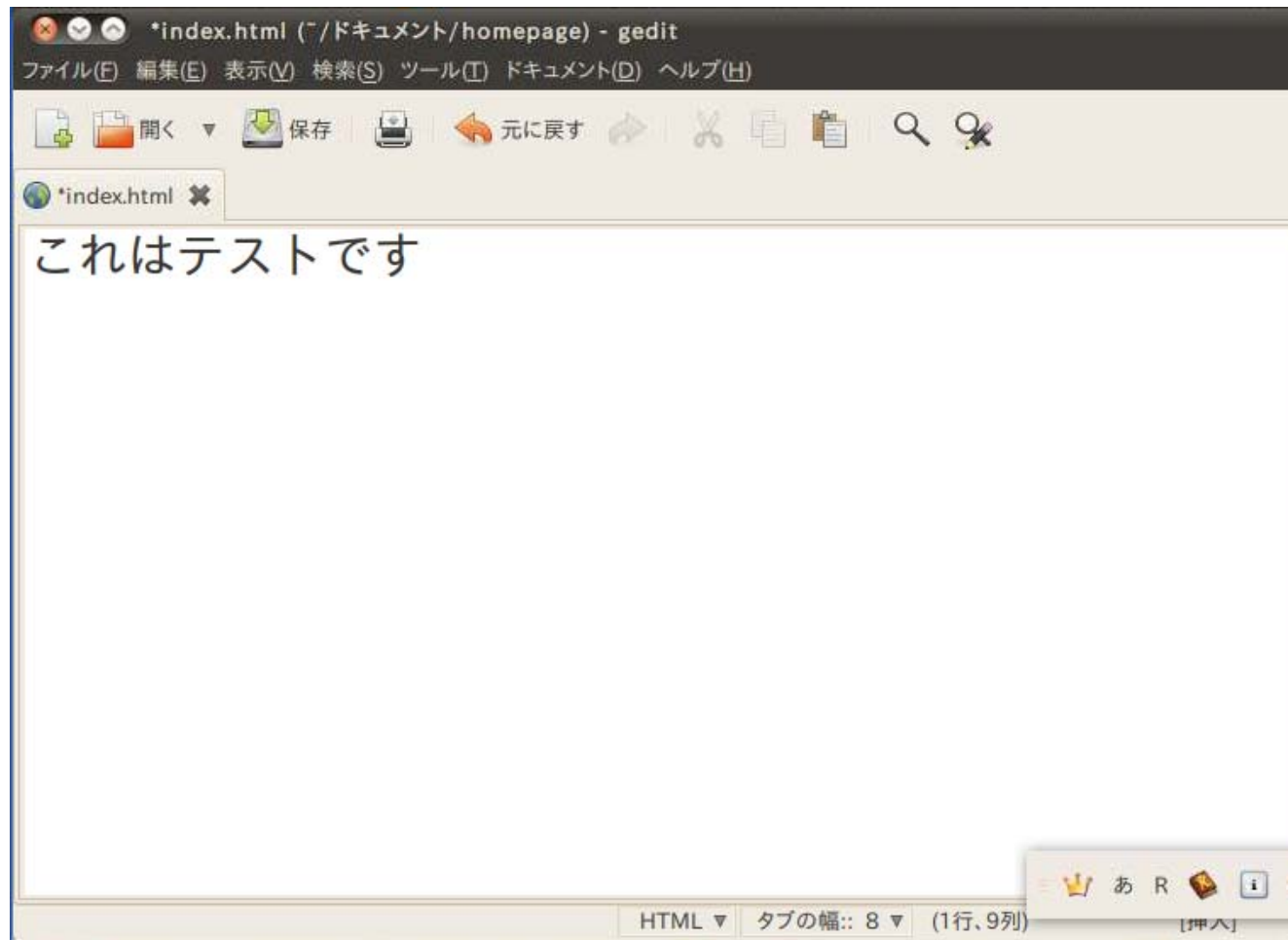
(注)「index.html」アイコンをダブルクリックすると

ブラウザ(IE, Internet Explorer)が起動して結果が表示される。

編集はできない！

# 5. まずは書いてみよう！

適当な文字を入力して, ファイルを上書き保存(「Ctrl」+「S」)



# I. ファイルのUP

(1)サーバーのアドレス:

①ホスト名 : sstu.nit.ac.jp

②IPアドレス : 202.18.172.70

(2)ユーザー名:

メールのユーザー名と同じ s1114\*\*\*

(3)パスワード:

メールのパスワードと同じ

(注意)

サーバーへのファイルの転送(FTP転送)は学内からのみ可能  
自宅からはできない

---

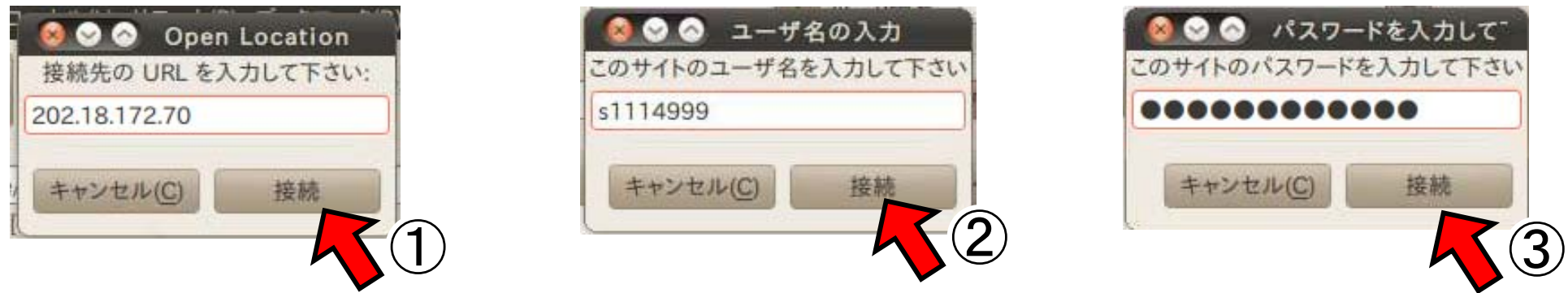
# I-① ファイルのUP Ubuntu編

# 1. ファイル転送ソフトの起動



- ①「アプリケーション」→「インターネット」→「gFTP」をクリック
- ②「パソコンのボタン」をクリック

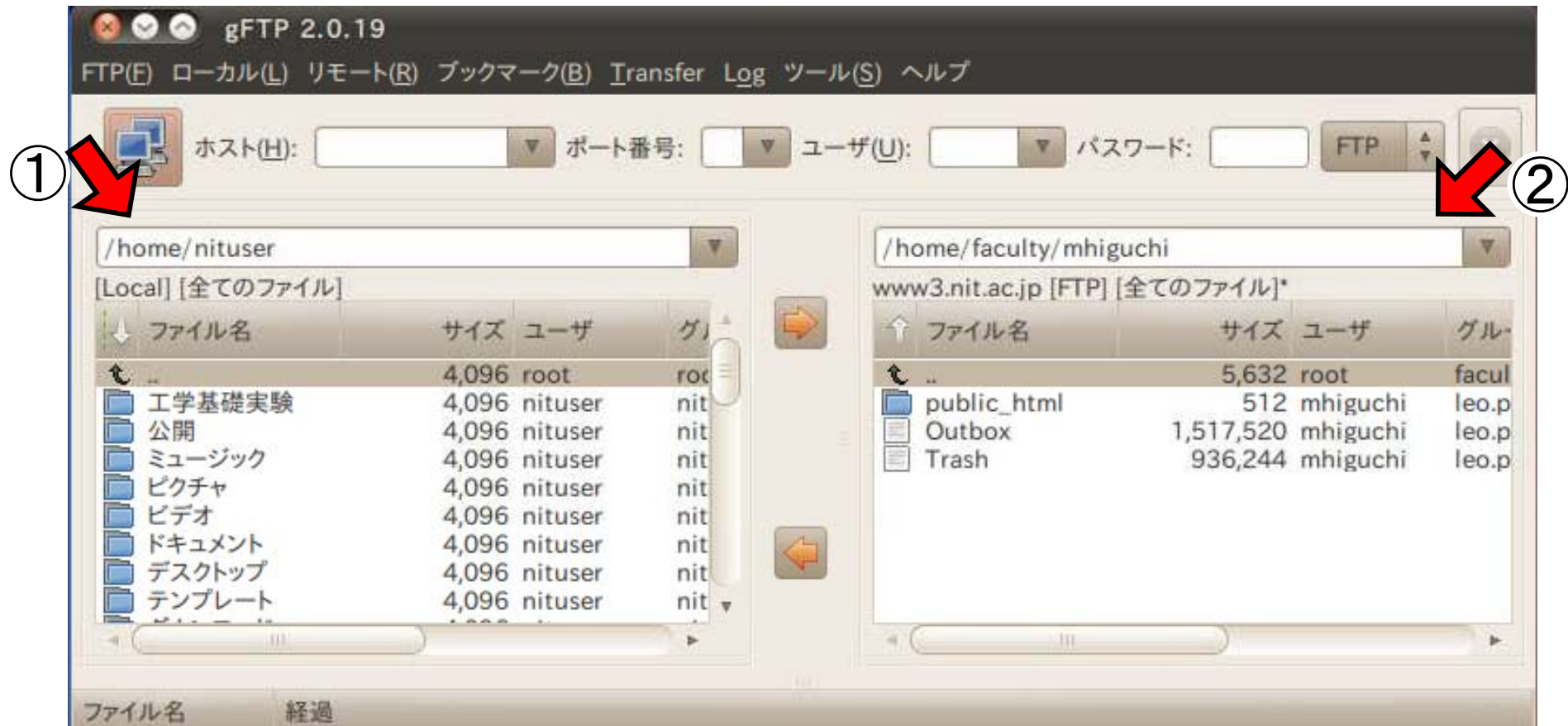
# 1. ファイル転送ソフトの起動



- ① IPアドレス : 202.18.172.70 を入力 → 「接続」をクリック
- ② ユーザー名 : s1114\*\*\* (メールのユーザー名) を入力 → 「接続」をクリック
- ④ パスワード : メールパスワードを入力 → 「接続」をクリック

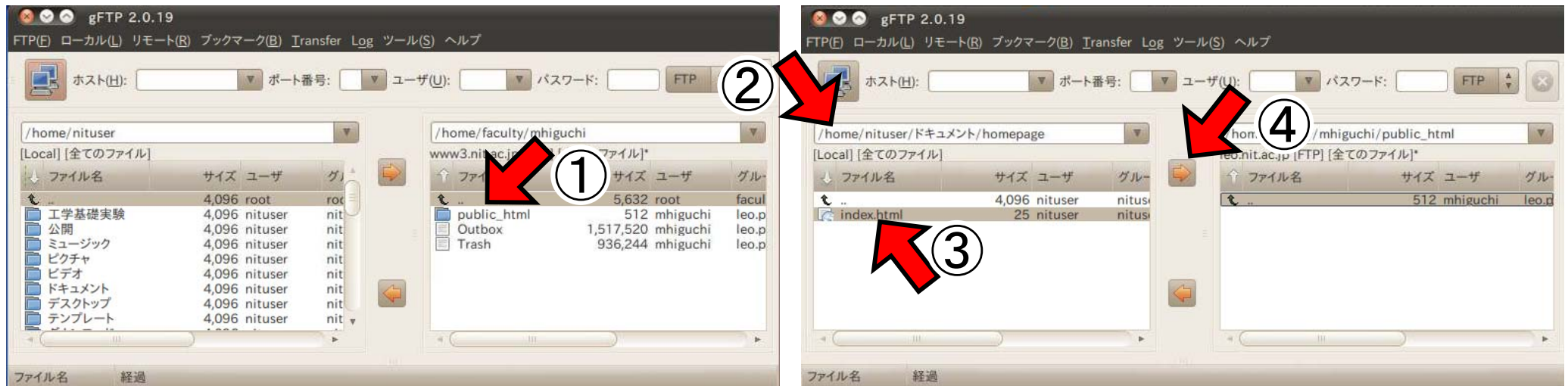


## 2. ファイル転送ソフトの画面



- ①左側: クライアント(自分のパソコン)のフォルダ・ファイル  
通常nituserのホームフォルダが開く
- ②右側: ホスト(Webサーバー)のフォルダ・ファイル  
通常自分のホームフォルダが開く

# 3. ファイルの転送



- ①ファイルの転送先は「public\_html」フォルダの中  
「public\_html」をダブルクリック
- ②適切にフォルダを移動して、転送したいファイルを表示させる
- ③転送したいファイルを選んで
- ④「⇒」ボタンをクリック

---

# I-②ファイルのUP Windows編

ファイル転送ソフト FFFTP のダウンロードと使用方法

# 1. ファイル転送ソフトのダウンロード<sup>20</sup>

**1** **FFFTP**  
私が作成したプログラムを紹介します。

FFFTPは開発終了品です  
ここにあるFFFTPは、2010年10月24日のバージョンです。  
今後のFFFTPの開発・バージョンアップの予定はありません。

他サイトでのFFFTP情報。  
● SourceForge.JPのFFFTPプロジェクト  
● IPv6対応版FFFTP

FFFTP Version 1.97b [2010/10/24]  
FTPクライアントです。

**特徴**

- ファイルリストの部分とファイル転送が別スレッドなので、ファイル転送をしながら新たなファイル操作ができます。
- ミラーリングアップロード機能により、ローカルのファイル構成と同じ物をホスト側に作ることが出来ます。

**サポート**  
プログラムに関するお問い合わせは、メールでお願いします。  
ブログでのサポートは行っておりません。  
→ [メールについて](#)

**ダウンロード**  
最新版(インストーラ付)はこちら。  
通常はこちらをダウンロードし、ダウンロードしたファイルを実行してインストールしてください。

[ffftp-1.97b.exe \(842,042バイト\)](#) **ダウンロード開始**

**その他のダウンロード**

最新版のインストーラなし版はこちら。  
インストーラを使用したくない時に使用してください。

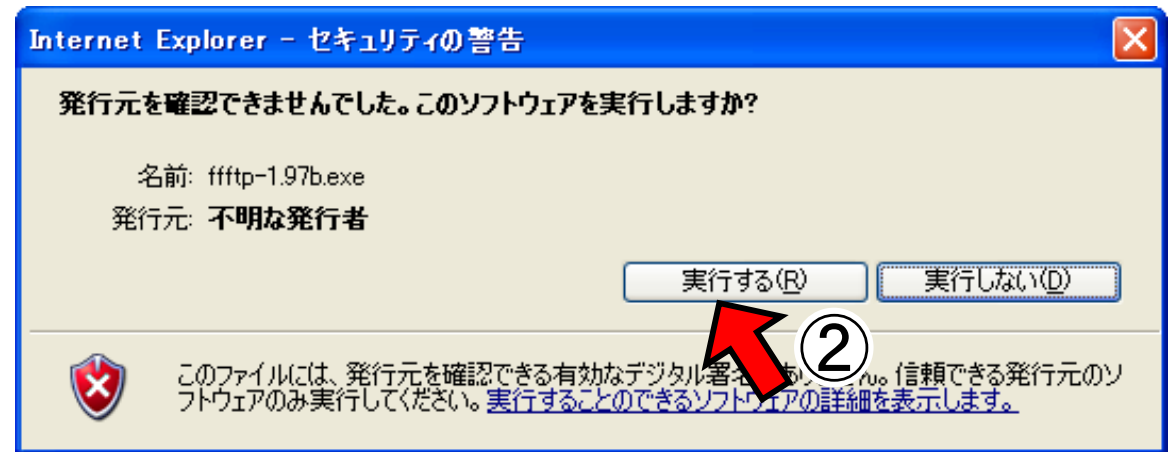
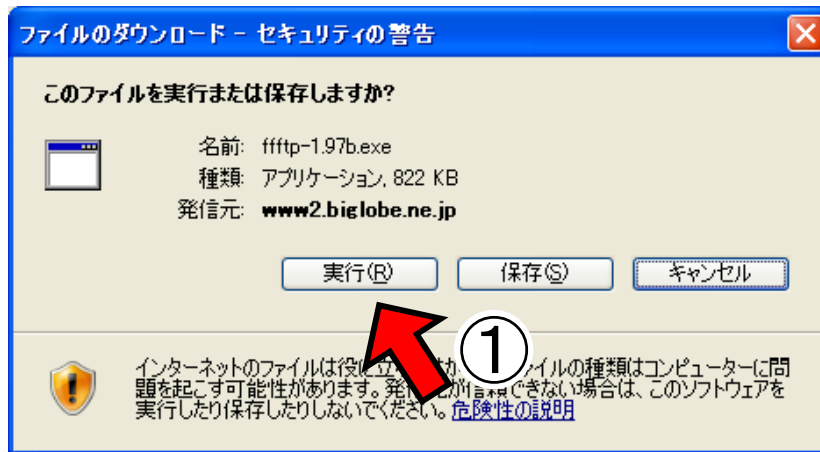
[ffftp-1.97b.zip \(473,919バイト\)](#) **ダウンロード開始**

<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/product/ffftp-1.97b.exe>

**2**

- ① FFFFTPのWebサイトへブラウザ(Internet Explorer)でアクセス  
アドレス <http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>
- ② 画面をスクロール  
ダウンロードのところの「ダウンロード開始」をクリック  
(インストーラ付)を選ぶこと！

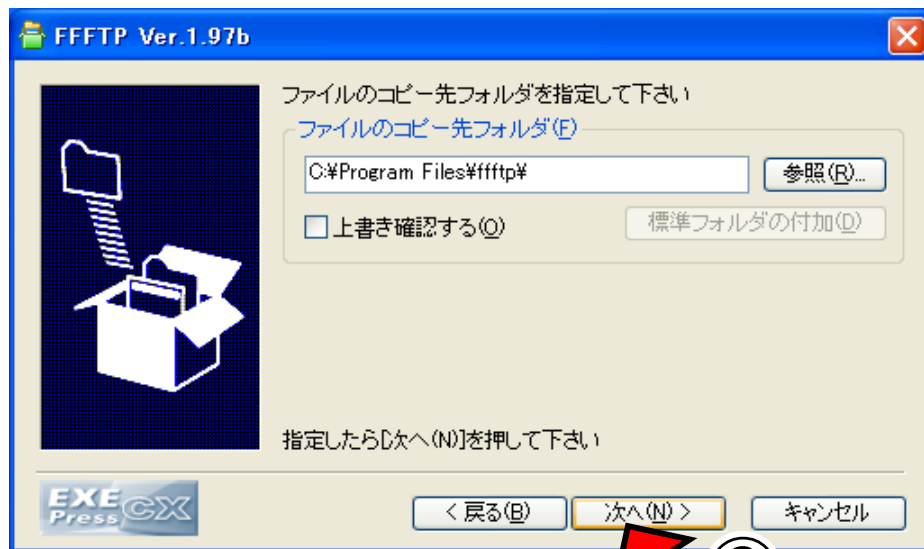
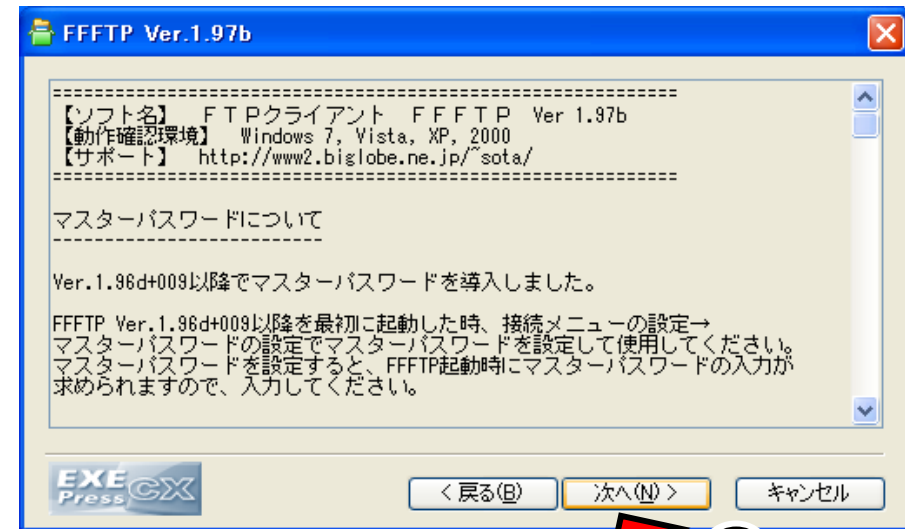
# 1. ファイル転送ソフトのダウンロード<sup>21</sup>



①ファイルのダウンロードセキュリティの警告  
「実行」をクリック

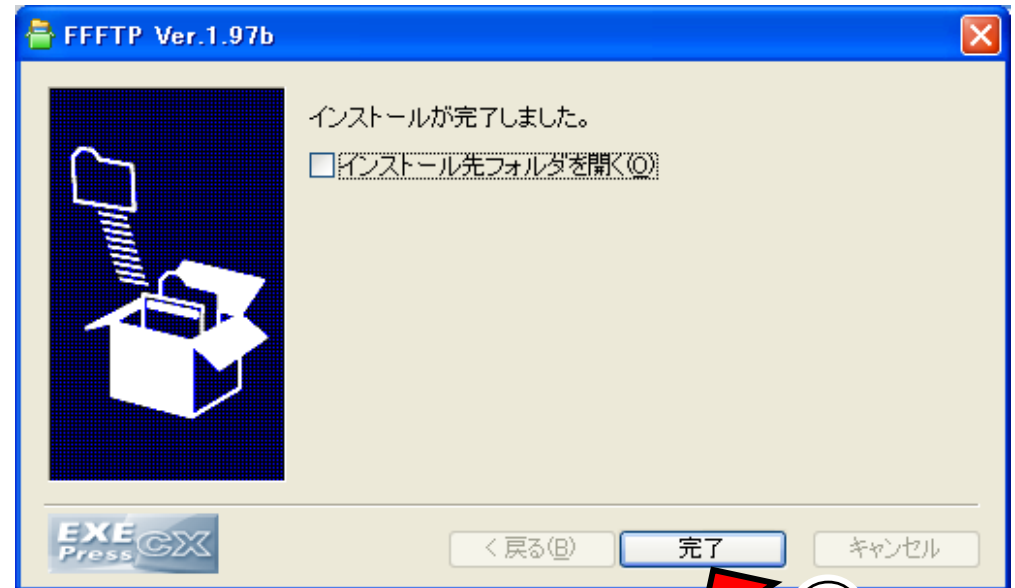
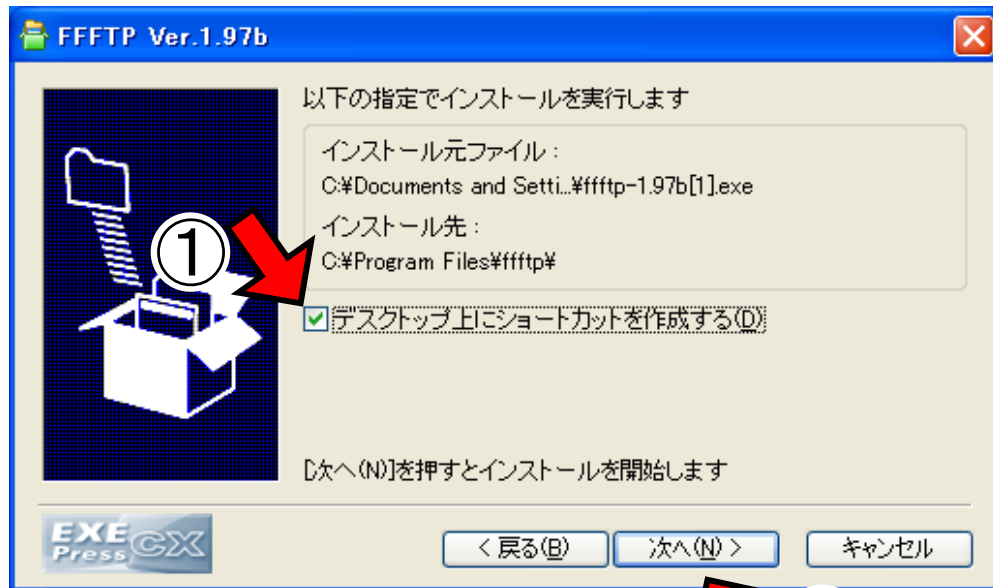
②Internet Explorer-セキュリティの警告  
「実行する」をクリック

# 2. ファイル転送ソフトのインストール<sup>22</sup>



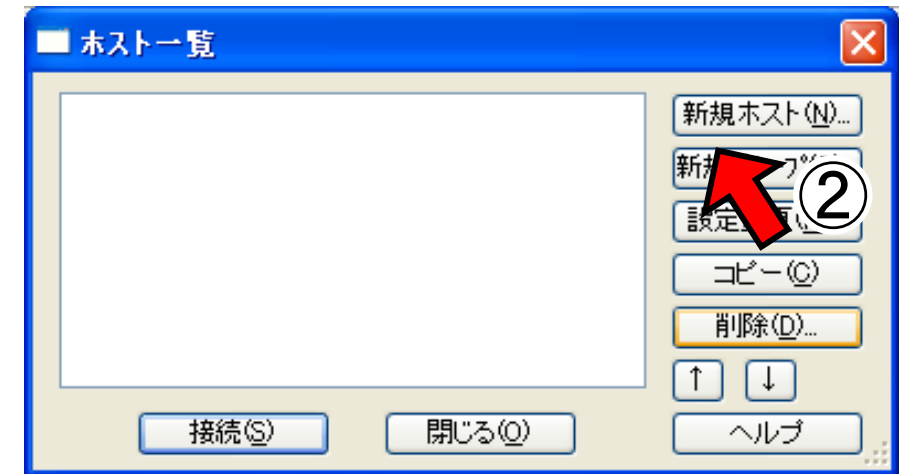
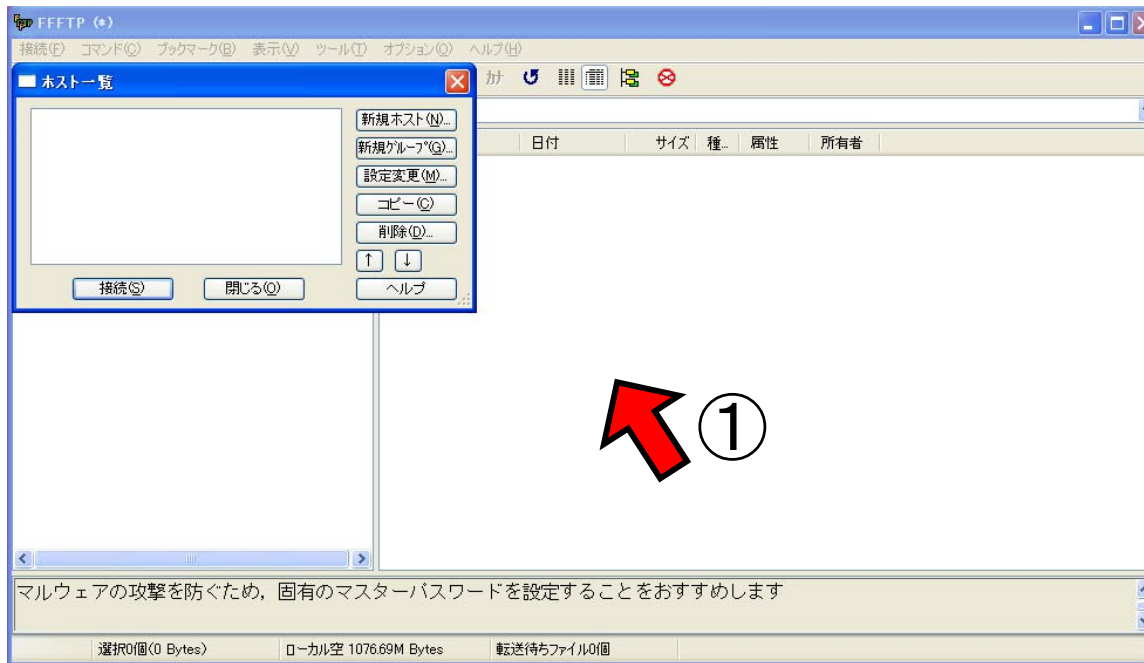
①②③全て「次へ」をクリック

## 2. ファイル転送ソフトのインストール<sup>23</sup>



- ① デスクトップ上にアイコンを作りたくない人はチェックを外す
- ② 「次へ」をクリック
- ③ 「完了」をクリック

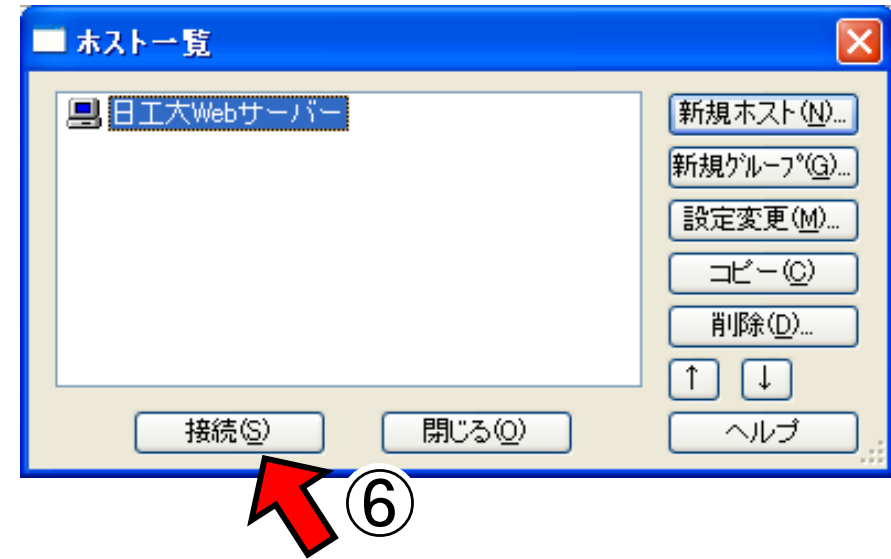
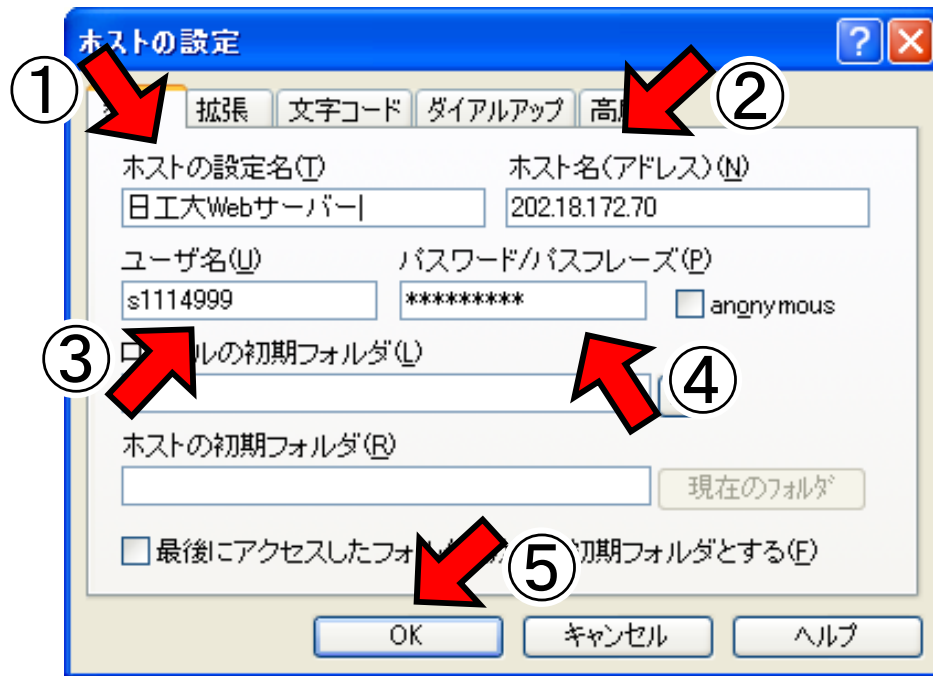
# 3. ファイル転送ソフトの起動



- ①「スタート」→「すべてのプログラム」→「FFFTP」→「FFFTP」とクリックしてFFFTPを起動
- ②「新規ホスト」をクリック



# 4. サーバーとの接続



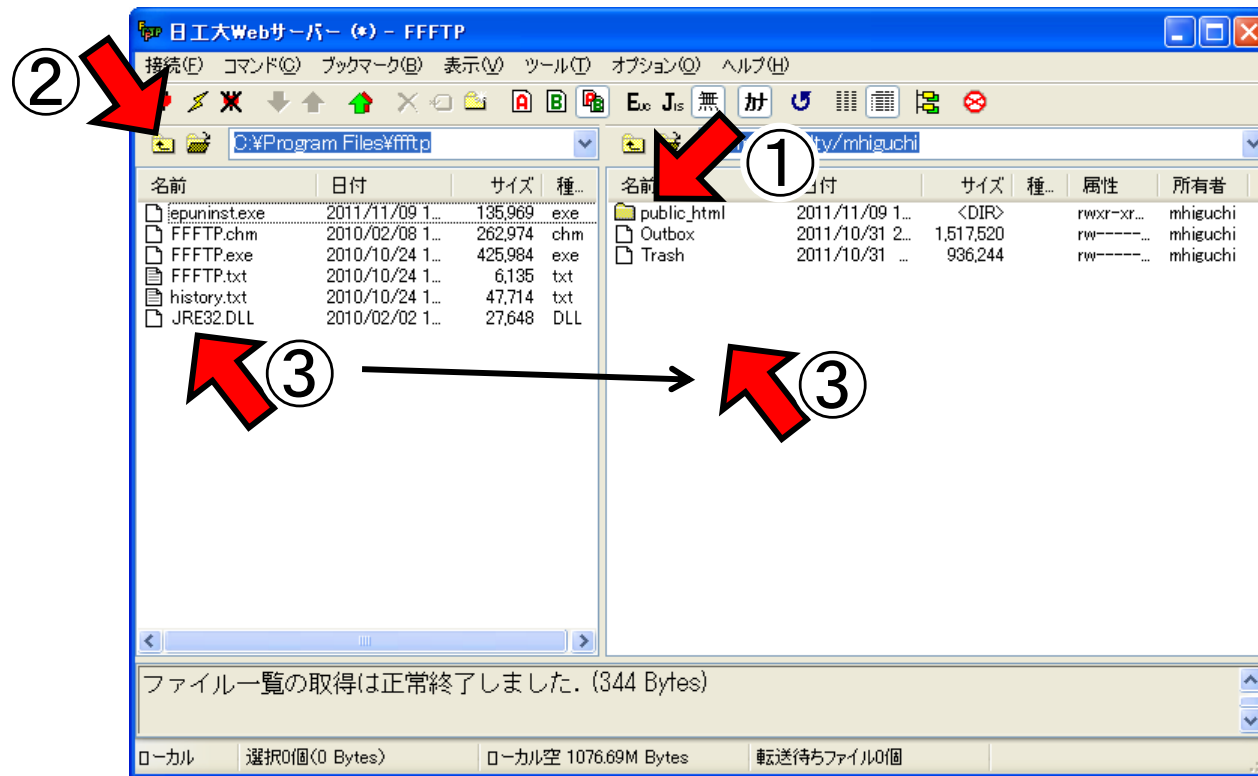
- ①ホストの設定名：任意(何でもOK)  
大学のWebサーバであることが分かる名前が良い
- ②ホスト名：202.18.172.70
- ③ユーザ名：s1114\*\*\* (メールのユーザ名)
- ④パスワード：メールのパスワード
- ⑤「OK」をクリック
- ⑥Webサーバーを選択して「接続」をクリック

# 5. ファイル転送ソフトの画面



- ①左側: クライアント(自分のパソコン)のフォルダ・ファイル  
初期設定ではffftpのインストールフォルダが開く
- ②右側: ホスト(Webサーバー)のフォルダ・ファイル  
通常自分のホームフォルダが開く

# 6. ファイルの転送



- ①ファイルの転送先は「public\_html」フォルダの中  
「public\_html」をダブルクリック
- ②適切にフォルダを移動して、転送したいファイルを表示させる
- ③転送したいファイルを選んで、右の欄へドラッグ

---

# I-③ ホームページを見る

①ブラウザ(FireFox・InternetExprorer)を立ち上げる



②アドレス「sstu.nit.ac.jp/~s1114\*\*\*\*/index.html」を入力  
    ↑  
    ~s学籍番号



③先ほど入力したテキストがそのまま表示される

# もっと素敵なホームページを！

---

30

単にテキスト(文章)を表示するだけでなく  
色々凝ったホームページを作る方法について  
これから学習していこう！

---

## II. HTMLの基本

# 1. 要素とタグ

---

(1)要素:

①見出し ②段落 ③リスト ④表 等の文書の各部分

(2)タグ

要素を指定するためのマーク

記述方法 : < 要素の種類を表す記号 >

(例) <P>, <BR>, <H1>, <DIV>

P: paragraphの頭文字で「段落」の意味

(3)タグの種類

①開始タグ : 要素の始まりを表すタグ (例) <P>, <H1>

②終了タグ : 要素の終わりを表すタグ (例) </P>, </H1>

終了タグにはスラッシュが付く



## 2. マークアップ

---

文書にタグを付けること

(例) <P>窓から入道雲が見えます</P>



開始タグ



文書



終了タグ

# 3. HTMLの基本構造

HTML: Hyper Text Markup Languageの略. Webページの記述言語

基本構造

HTML要素

<HTML>

HTML文書の内容が全て収められる要素

<HEAD>

HEAD要素

文書全体に関する情報

</HEAD>

①文書のタイトル

<BODY>

②スタイルシートの情報

基本的に表示されない



BODY要素

文書の内容そのもの

皆さんが考えて作り出す場所

</HTML>

# 4. HEADの中に記入するもの

タイトル: ブラウザ上部のタイトル・バーに表示する項目文

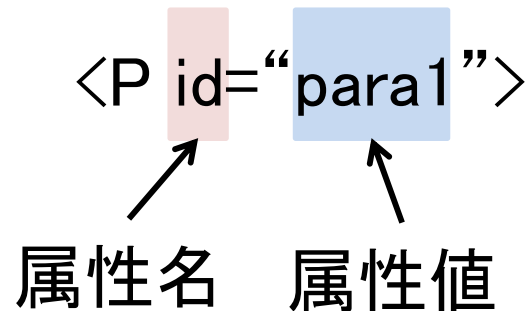
記入方法: `<title>ページのタイトル</title>`

```
<html>
  <head>
    <title> なすび </title>
  </head>
  <body text="red" background="nasu.jpg">
    なすびがいっぱい
  </body>
</html>
```



# 5. 属性の指定

属性: 開始タグに記入されるその要素の付加的な情報



(例)

```
<body text="red" link="blue" vlink="green" alink="yellow" bgcolor="silver" background="moon.gif">
```

要素「body」の中の

text 文字色の指定

link リンク色の指定

vlink 行ったことのあるリンク色の指定

alink リンクをマウスでクリックしたときの色の指定

bgcolor 背景色の指定

background 背景に貼る画像ファイルの指定

} どちらかを  
指定

# 6. マークアップの作法

---

(1) タグを制御文字のように扱わない

[悪い例]

外でカナカナが鳴いています<P>

僕はまだ原稿を書いています

[良い例]

<P>外でカナカナが鳴いています

<P>僕はまだ原稿を書いています

(2) 他のタグをまたがない

[間違った例]

<HEAD>

<BODY>

</HEAD>

.....

</BODY>

HEADが終わらないうちに  
BODYが出てきている

# 6. マークアップの作法

## (3) 必要な終了タグを忘れない

[間違った例]

<H1>ライター夏物語

<P>花火の音が聞こえます。僕はまだ原稿を書いています

[正しい例]

<H1>ライター夏物語</H1>

<P>花火の音が聞こえます。僕はまだ原稿を書いています</P>

## (4) インデントを付ける

対応する場所の行の  
始めの位置を変える

```
<html>
  <head>
    <title> なすび </title>
  </head>
  <body text="red" background="nasu.jpg">
    なすびがいっぱい
  </body>
</html>
```

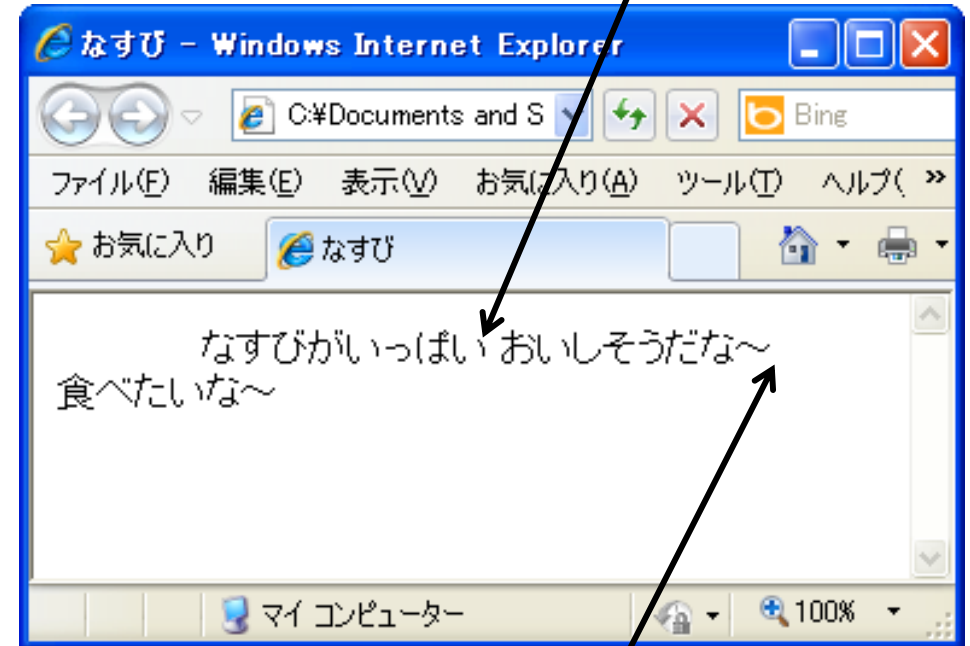
# III. テキストの記述方法

# 1. 改行

<BR> 終了タグは無い

改行していない

```
<html>
  <head>
    <title> なすび </title>
  </head>
  <body>
    なすびがっぱい
    おいしそうだな~<BR>
    食べたいな~
  </body>
</html>
```



<BR>を付けた場所は改行している

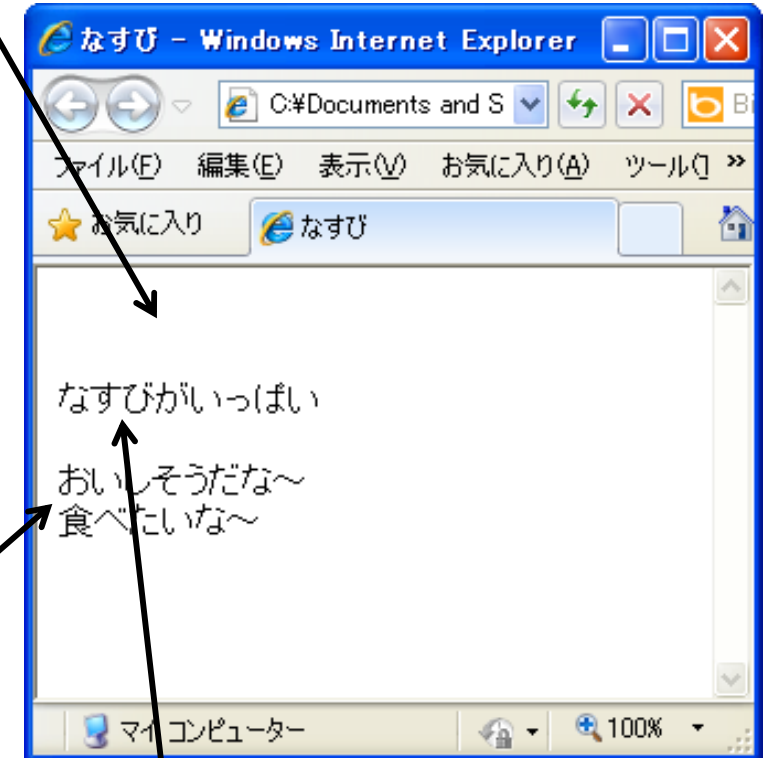


## 2. 段落

<P>段落</P>

段落の前にスペースを作る

```
<html>
<head>
  <title> なすび </title>
</head>
<body>
  <P>なすびがいっぱい</P>
  <P>おいしそうだな~<BR>食べたいな~</P>
</body>
</html>
```



改行の場合は行間があかない

段落の前にスペースを作る  
(行間があく)

# 3. 見出し

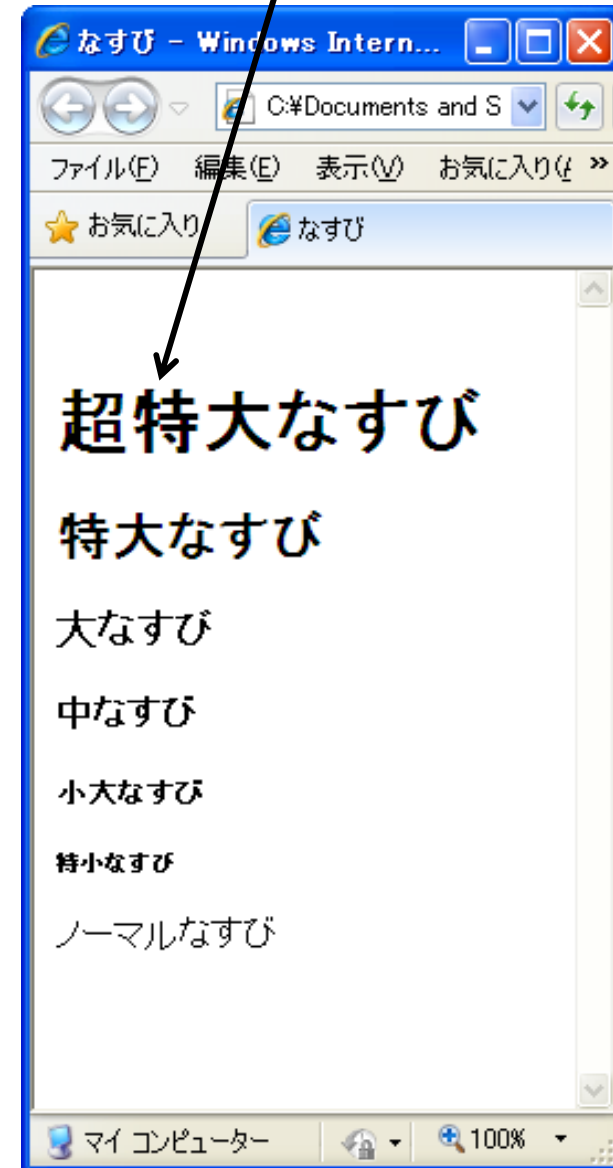
<H1> <H2> <H3> <H4> <H5> <H6>

大

小

```
<html>
  <head>
    <title> なすび </title>
  </head>
  <body>
    <H1>超特大なすび</H1>
    <H2>特大なすび</H2>
    <H3>大なすび</H3>
    <H4>中なすび</H4>
    <H5>小大なすび</H5>
    <H6>特小なすび</H6>
    <P>ノーマルなすび</P>
  </body>
</html>
```

見出しは太字

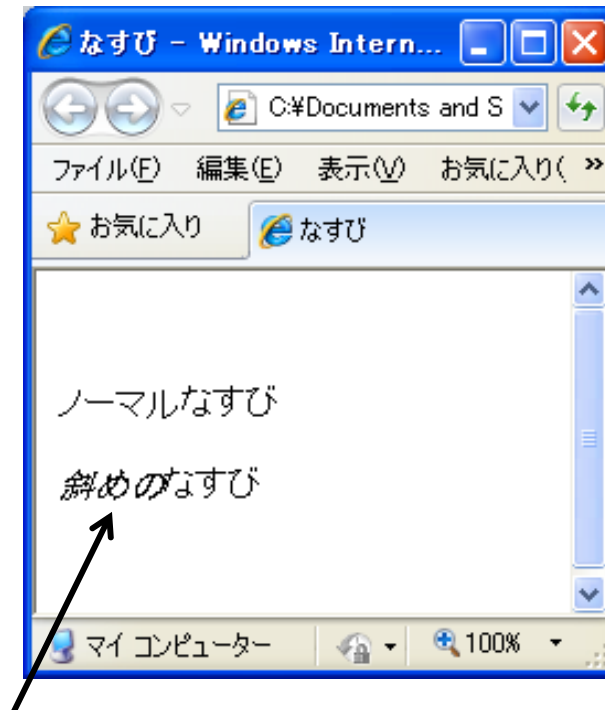


# 4. 文字のスタイル

イタリック(斜字体)にする

<I>文書</I>

```
<html>
  <head>
    <title> なすび </title>
  </head>
  <body>
    <P>ノーマルなすび</P>
    <P><I>斜めの</I>なすび</P>
  </body>
</html>
```



<I>と</I>で挟んだ範囲がイタリック(斜字体)になる

# 4. 文字のスタイル

---

B	: Bold(太字)
STRONG	: Strong(強調)
I	: Italic(斜字体)
EM	: Emphasis(重要)
CITE	: Citation(引用)
DFN	: Definition(定義)
TT	: Typewrite(等幅フォント)
CODE	: Code(プログラム掲載用)
S	: Strike-through(取り消し線)
U	: Under(下線)
SUP	: Superscript(上付き文字)
SUB	: Subscript(下付き文字)
BIG	: 標準フォントより1pt大きい
SMALL	: 標準フォントより1pt小さい

# 5. ブロックレベル要素とインラインレベル要素<sup>45</sup>

<html> 汎用的なブロックレベル要素

<head>

<title> なすび </title>

</head>

<body>

<DIV>

<H1>初めてのなすび体験</H1>

<P>ある日森の中<I>なすび</I>を拾った.

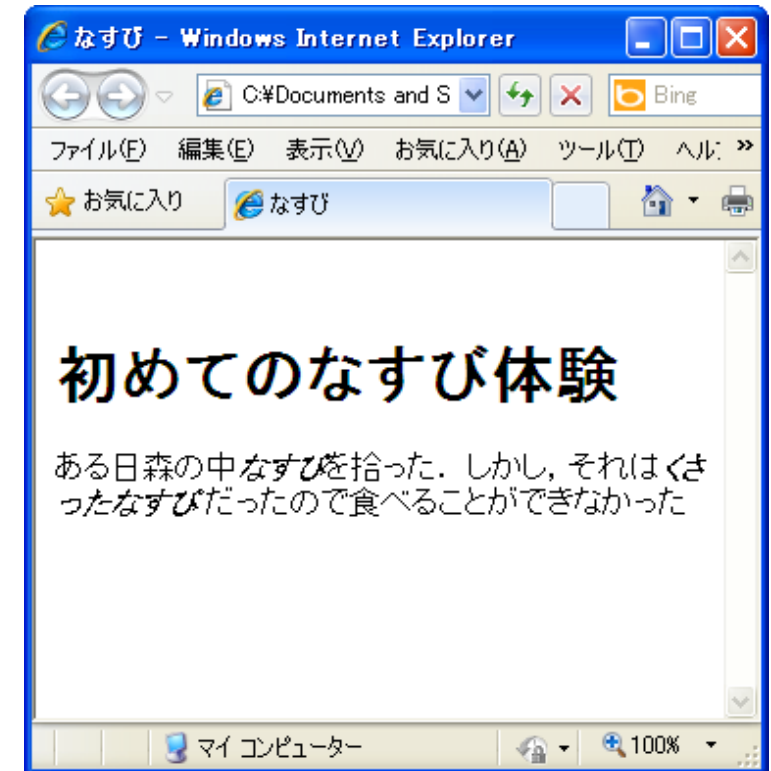
しかし、それは<EM>小さくなすび</EM>

だったので食べることができなかつた</P>

</DIV>

</body>

</html>



ブロックレベル要素

インラインレベル要素

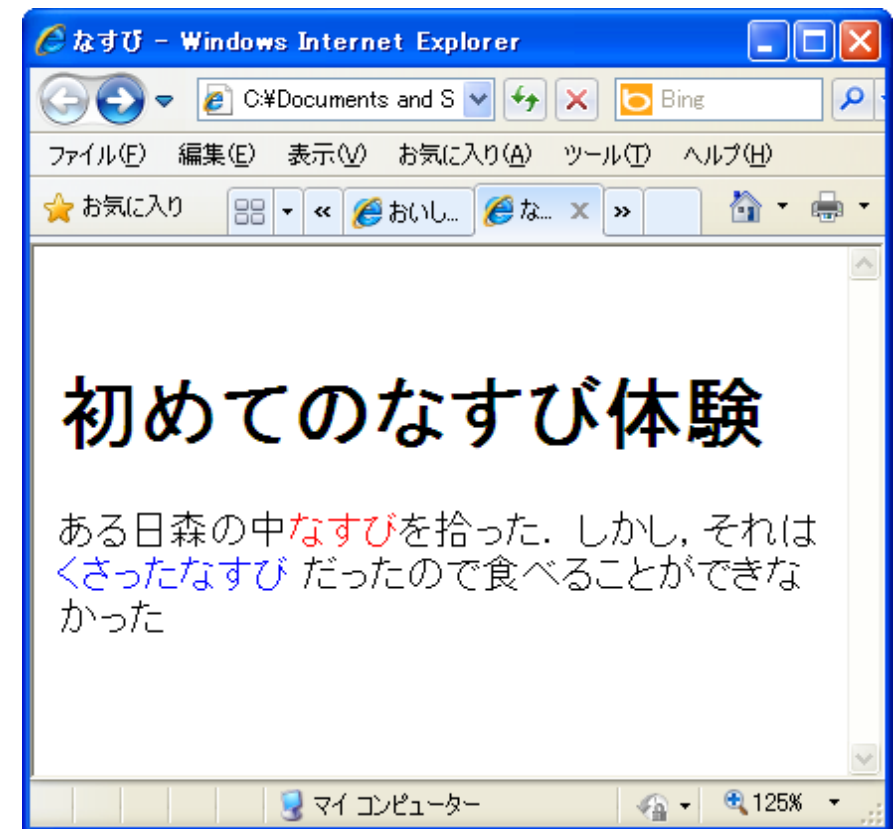
## 6. 汎用的な要素

DIV : 汎用的なブロックレベル要素

SPAN : 汎用的なインラインレベル要素

要素のスタイル(文字大きさ, 色, 種類等)を設定する時に便利

```
<html>
<head>
  <title> なすび </title>
</head>
<body>
  <DIV>
    <H1>初めてのなすび体験</H1>
    <P>ある日森の中
      <SPAN style="color:red">なすび</SPAN>を拾った.
      しかし, それは
      <SPAN style="color:blue">くさったなすび</SPAN>
      だったので食べることができなかった</P>
  </DIV>
</body>
</html>
```



# 7. 部分的な文字の色の指定

汎用インラインレベル要素「SPAN」を利用

書式: `<span style="color:色">文書</span>`

## 色の指定

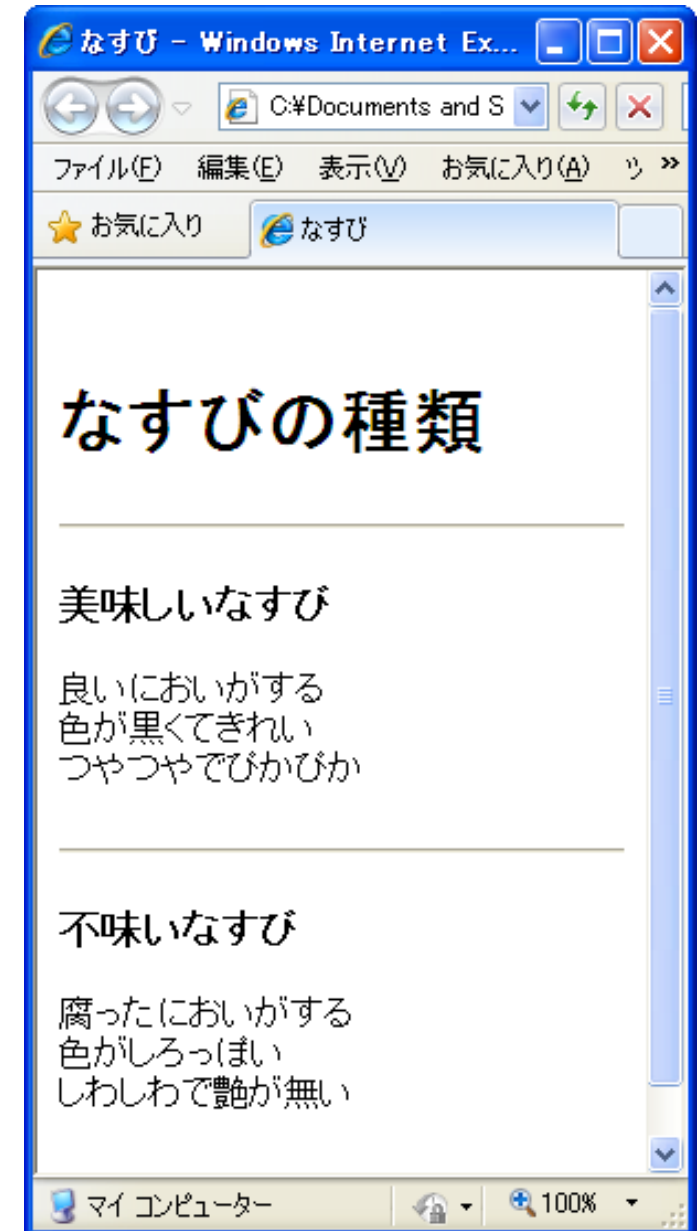
black	: 黒	green	: 緑
silver	: 銀	lime	: ライム
gray	: 灰	olive	: オリーブ
white	: 白	yellow	: 黄
maroon	: 栗	navy	: 紺
red	: 赤	blue	: 青
purple	: 紫	teal	: コバルトブルー
fuchsia	: 赤紫	aqua	: 水

## その他の色の指定

`#rrggbb` Red, Green, Blueの強さで指定 (00~ff: 16進数)

## <HR>

```
<html>
<head>
  <title> なすび </title>
</head>
<body>
  <H1>なすびの種類</H1>
  <HR>
  <H3>美味しいなすび</H3>
  <P>良いにおいがする<BR>
  色が黒くてきれい<BR>
  つやつやでぴかぴか<BR></P>
  <HR>
  <H3>不味いなすび</H3>
  <P>腐ったにおいがする<BR>
  色がしろっぽい<BR>
  しわしわで艶が無い<BR></P>
</body>
</html>
```

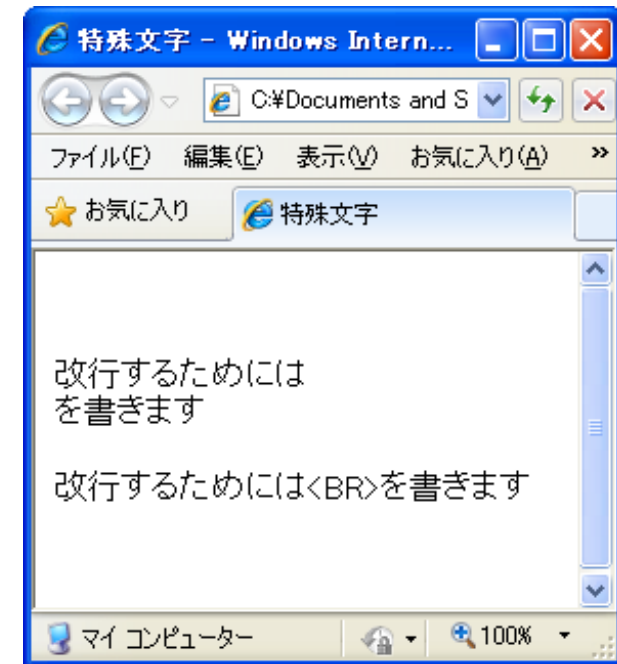




# 9. 特殊文字

<	: &lt;
>	: &gt;
&	: &amp;
©	: &copy; (著作権)
®	: &reg; (登録商標)
¢	: &cent; (セント)
°	: &deg; (度)
«	: &laquo; (不等号)
μ	: &micro; (ミクロン)
·	: &middot; (中点)
¬	: &not; (否定・継続行)
¶	: &para; (パラグラフ(節・段落))
±	: &plusmn; (プラス・マイナス)
&pond;	: &pound; (ポンド)
»;	: &raquo; (不等号)
§	: &sect; (章)
¥	: &yen; (円)

```
<html>
  <head>
    <title> 特殊文字 </title>
  </head>
  <body>
    <P>改行するためには<BR>を書きます</P>
    <P>改行するためには&lt;BR&gt;を書きます</P>
  </body>
</html>
```

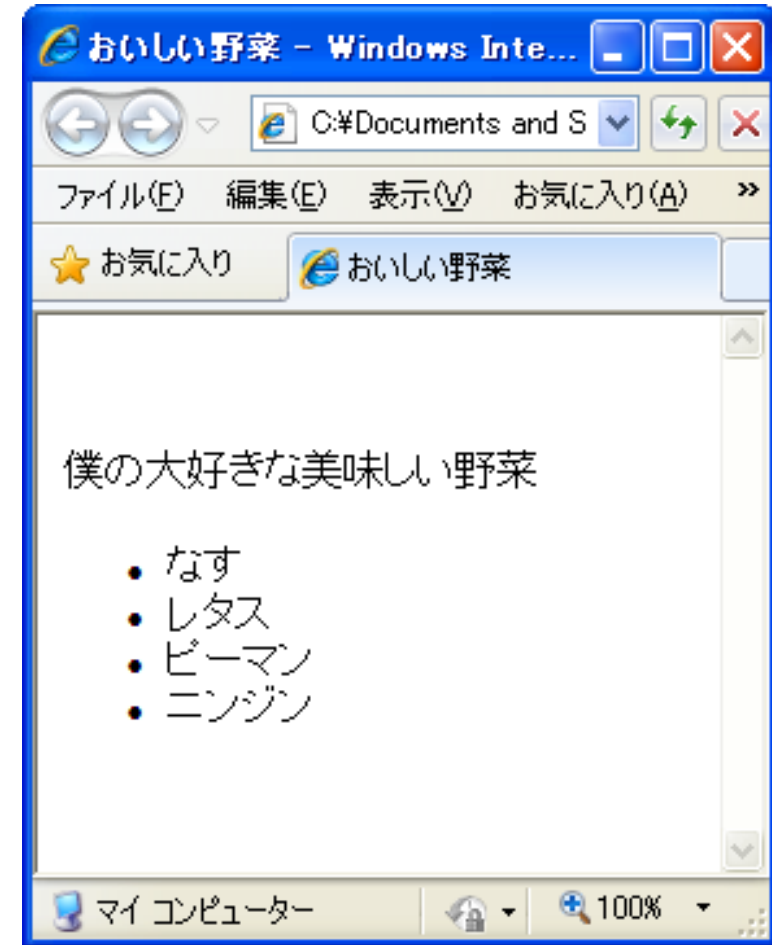


参考URL <http://e-words.jp/p/r-htmlentity.html>

# 10. マーク付きリスト

- ①各項目の頭に<LI>を付ける
- ②リスト全体を<UL>と</UL>で囲む

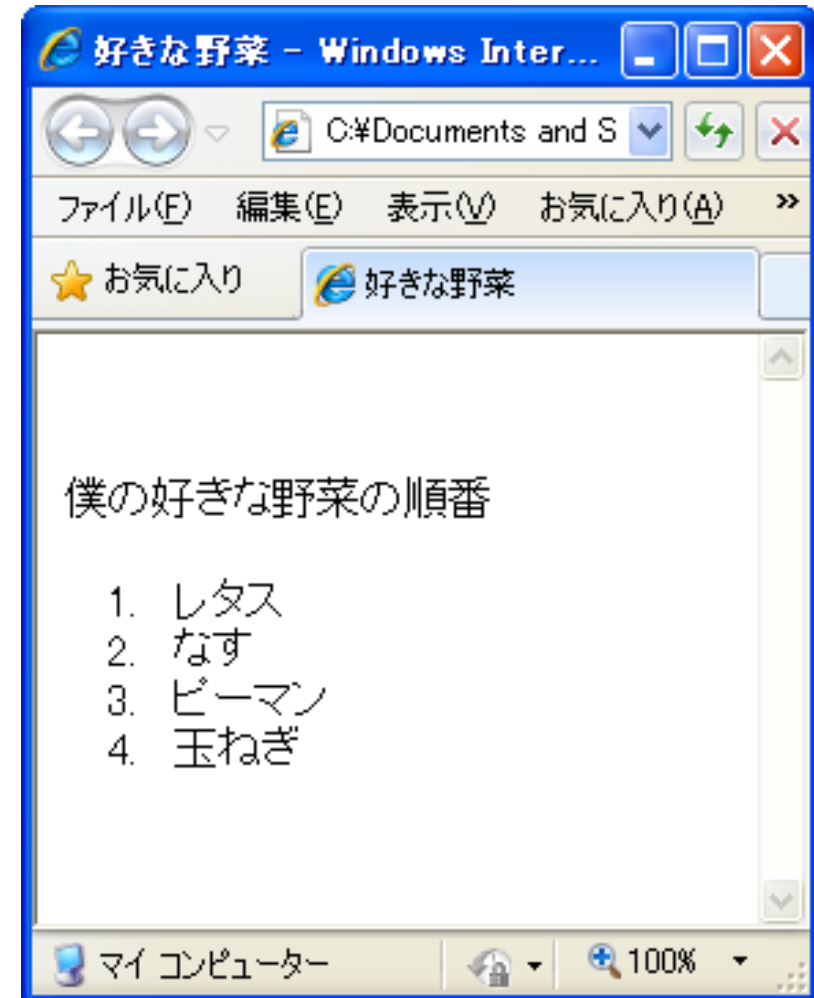
```
<html>
  <head>
    <title> おいしい野菜 </title>
  </head>
  <body>
    <P>僕の大好きな美味しい野菜</P>
    <UL>
      <LI>なす
      <LI>レタス
      <LI>ピーマン
      <LI>ニンジン
    </UL>
  </body>
</html>
```



# 7. 番号付きリスト

- ①各項目の頭に<LI>を付ける
- ②リスト全体を<OL>と</OL>で囲む

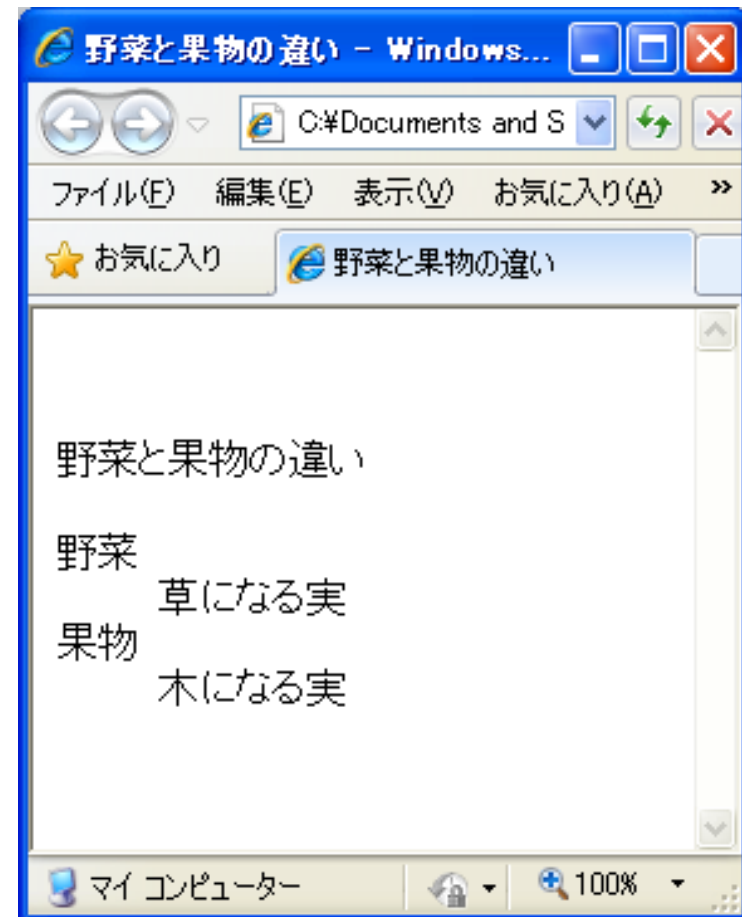
```
<html>
  <head>
    <title> 好きな野菜 </title>
  </head>
  <body>
    <P>僕の好きな野菜の順番</P>
    <OL>
      <LI>レタス
      <LI>なす
      <LI>ピーマン
      <LI>玉ねぎ
    </OL>
  </body>
</html>
```



# 8. 定義リスト

- ①定義したい用語の頭に<DI>を付ける
- ②用語の説明の頭に<DD>を付ける
- ③リスト全体を<DL>と</DL>で囲む

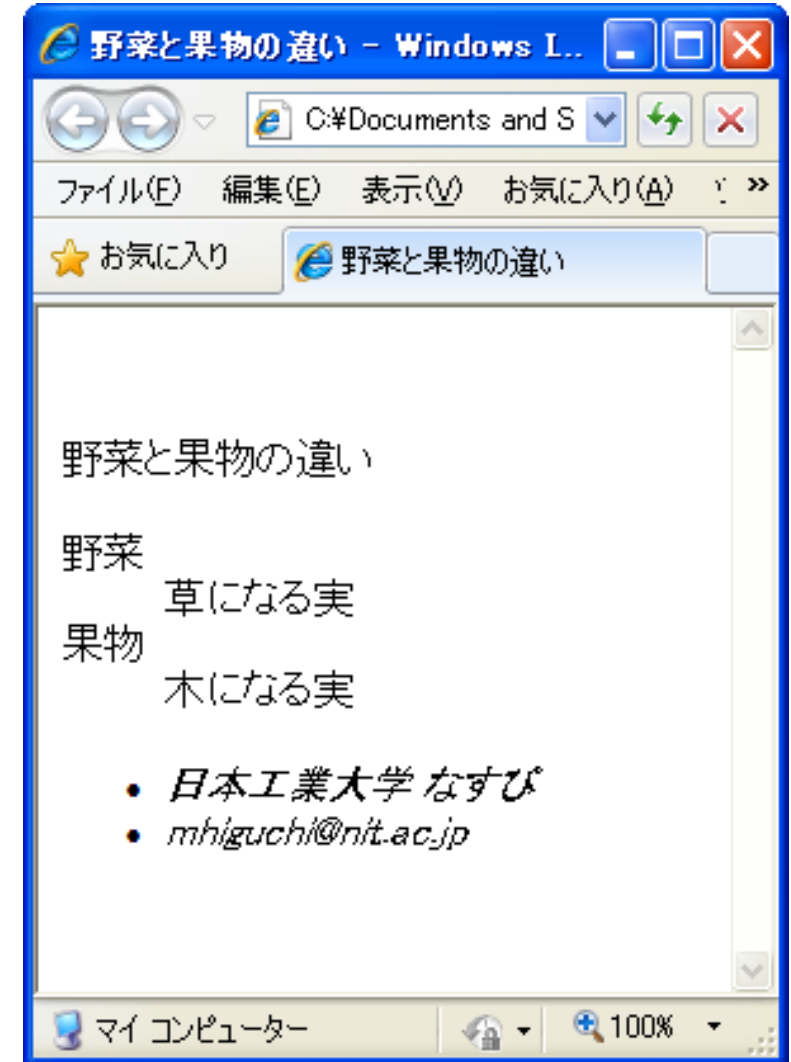
```
<html>
  <head>
    <title> 野菜と果物の違い </title>
  </head>
  <body>
    <P>野菜と果物の違い</P>
    <DL>
      <DT>野菜
      <DD>草になる実
      <DT>果物
      <DD>木になる実
    </DL>
  </body>
</html>
```



# 11. 著者の情報

## <ADDRESS>

```
<html>
  <head>
    <title> 野菜と果物の違い </title>
  </head>
  <body>
    <P>野菜と果物の違い</P>
    <DL>
      <DT>野菜
      <DD>草になる実
      <DT>果物
      <DD>木になる実
    </DL>
    <ADDRESS>
      <UL>
        <LI>日本工業大学 なすび
        <LI>mhiguchi@nit.ac.jp
      </UL>
    </ADDRESS>
  </body>
</html>
```



# IV. ハイパーリンク

# 1. ハイパーリンク

---

ハイパーリンク:

- ①HTMLの最大の特徴
- ②文書中に他の情報へのリンクを持たせる機能

記述方法

アンカー(anchor)を意味する<a>タグを使用

- ①<A href="**URLの指定**">リンク部分の文字</A>

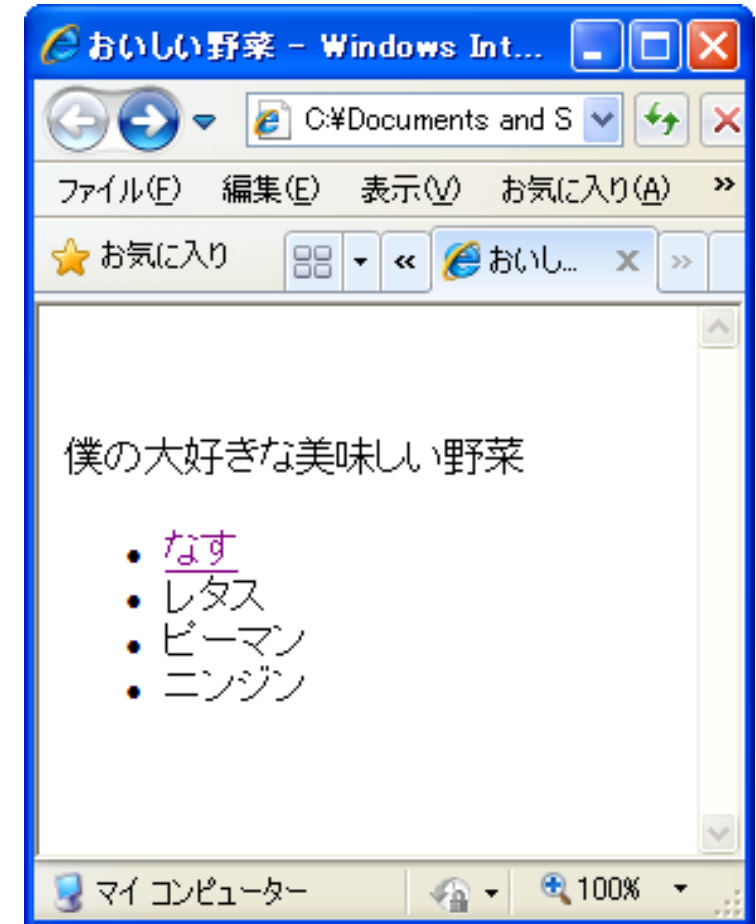
リンク先のファイルが別のWebサーバ上にある場合.

- ②<A href="**ファイルの名前**">リンク部分の文字 </A>

リンク先のファイルがページデータと同じWebサーバ上にある場合.

(例)

```
<html>
  <head>
    <title> おいしい野菜 </title>
  </head>
  <body>
    <P>僕の大好きな美味しい野菜</P>
    <UL>
      <LI><A href="introduction.html">なす</A>
      <LI>レタス
      <LI>ピーマン
      <LI>ニンジン
    </UL>
  </body>
</html>
```





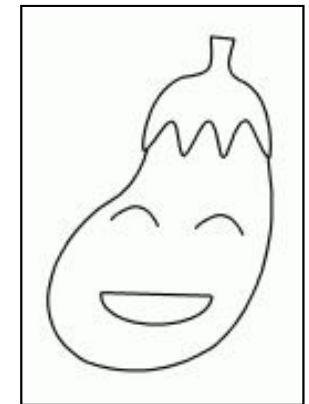
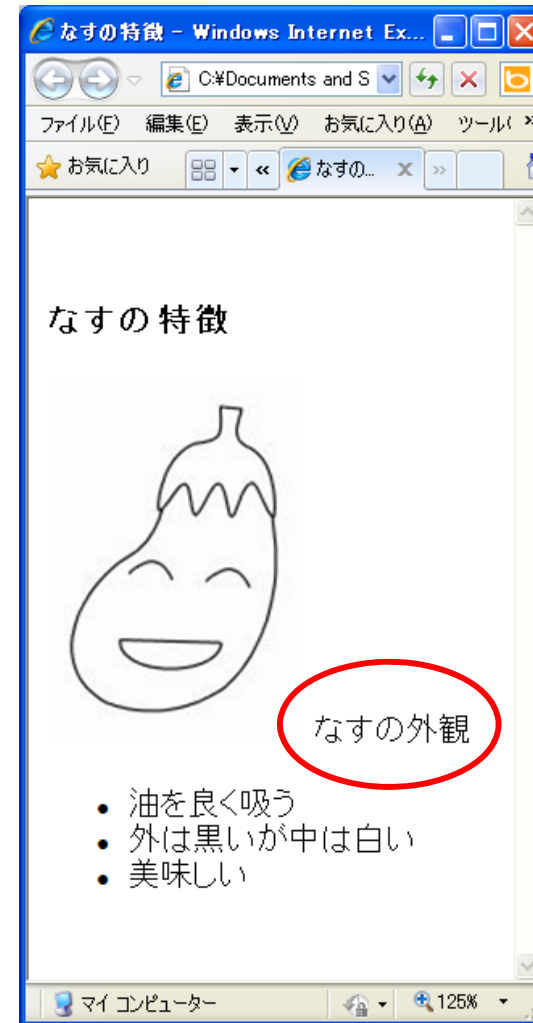
# V. インラインイメージ

# 1. インラインイメージ

インライン・イメージ: ページ内に直接組み込んで表示させる画像

タグの書式: ``

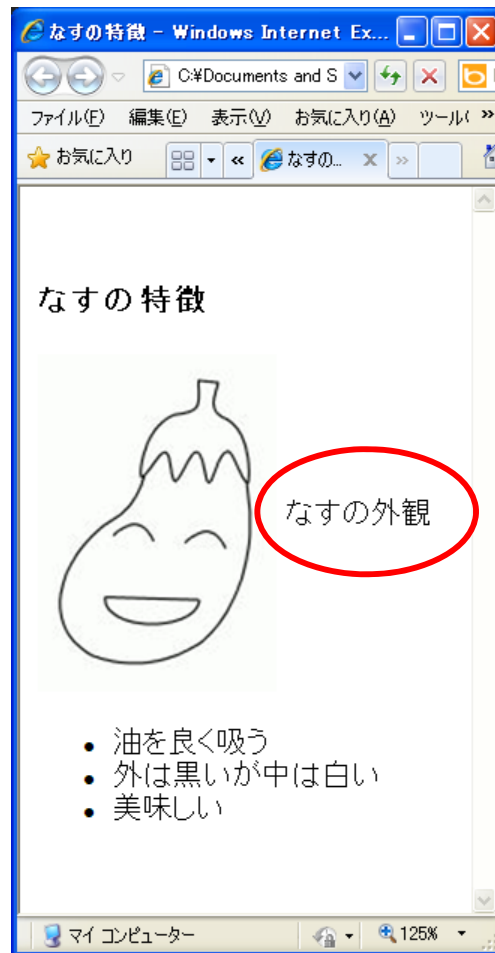
```
<html>
  <head>
    <title> なすの特徴 </title>
  </head>
  <body>
    <P>なすの特徴</P>
    
    なすの外観
    <UL>
      <LI>油を良く吸う
      <LI>外は黒いが中は白い
      <LI>美味しい
    </UL>
  </body>
</html>
```



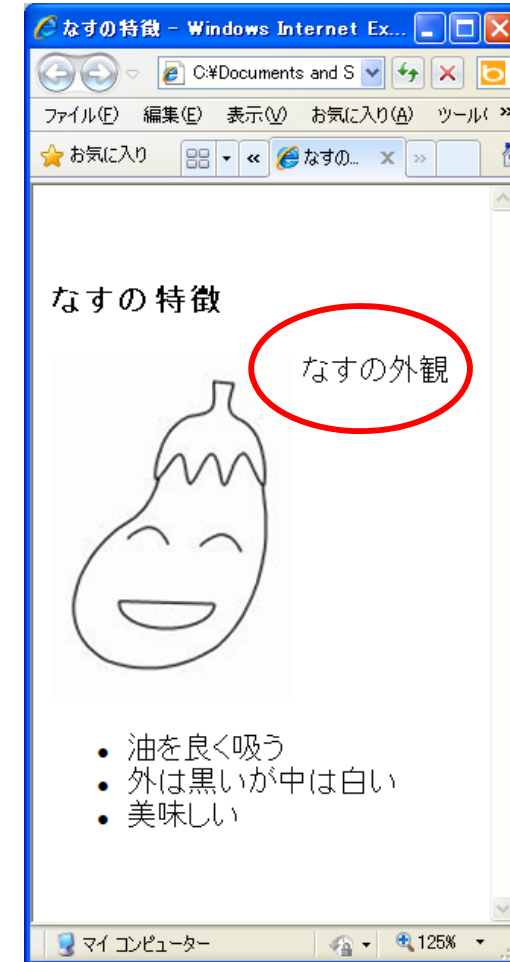
nasu.jpg

**終了タグは無いことに注意**

# 2. 説明テキストの位置



  
なすの外観



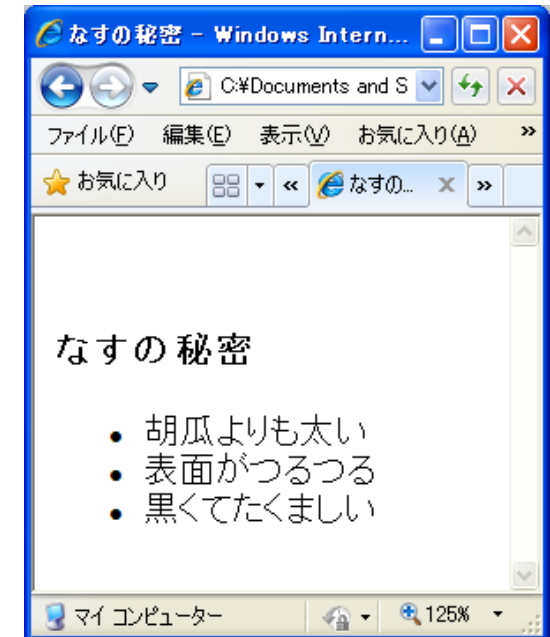
  
なすの外観

# 3. イメージにリンクを設定する

## 書式

<A href="ファイルの名前"></A>

```
<html>
<head>
  <title> なすの特徴 </title>
</head>
<body>
  <H3>なすの特徴</H3>
  <A href="secret.html">
  
  </A>
  なすの外観
  <UL>
    <LI>油を良く吸う
    <LI>外は黒いが中は白い
    <LI>美味しい
  </UL>
</body>
</html>
```



secret.html

# VI. 表

# 1. 表作成の基本

---

- ①セルをTD (Table Data) 要素で指定
- ②行をTR (Table Row) 要素で指定
- ③全体をTABLE要素で囲む

<TABLE>

<TR>

<TD>セル11 <TD>セル12 <TD>.....

</TR>

<TR>

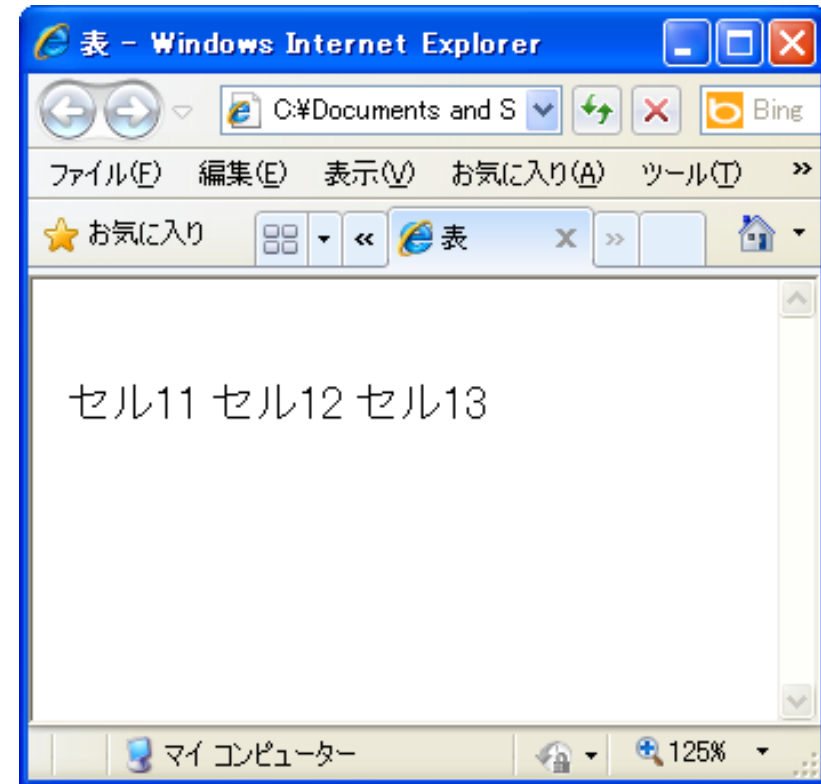
<TD>セル21 <TD>セル22 <TD>.....

.....

<TABLE>

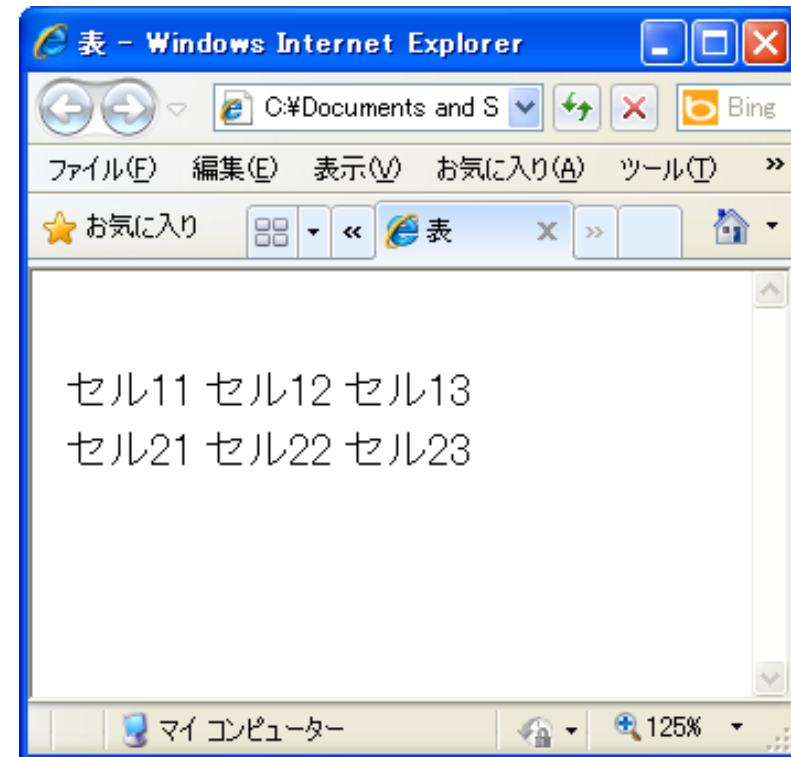
## 2. 具体例①

```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE>
      <TR>
        <TD>セル11<TD>セル12<TD>セル13
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```



## 2. 具体例②

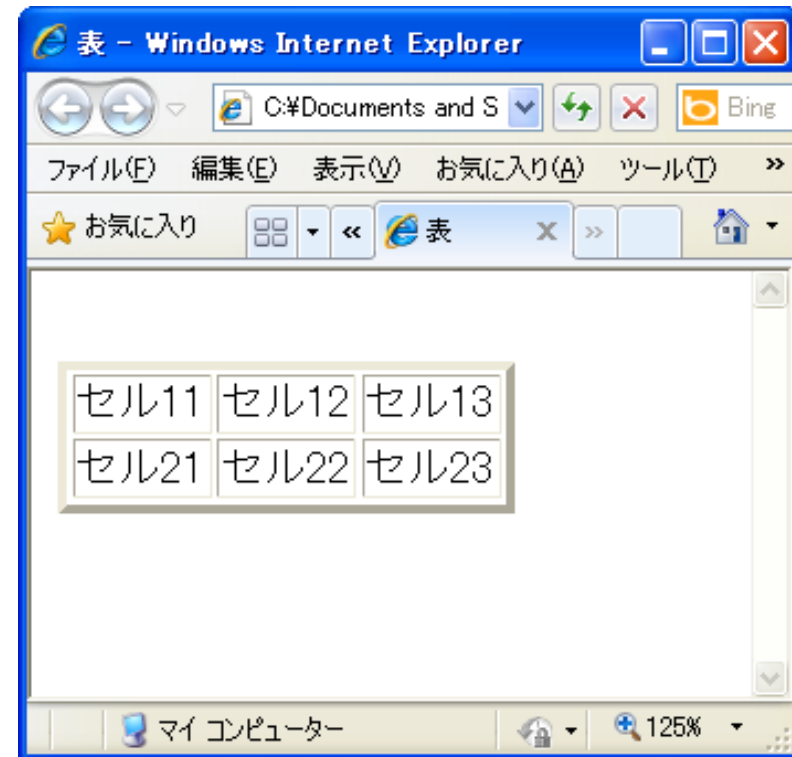
```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE>
      <TR>
        <TD>セル11<TD>セル12<TD>セル13
      </TR>
      <TR>
        <TD>セル21<TD>セル22<TD>セル23
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```





## 2. 具体例③

```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE border="3">
      <TR>
        <TD>セル11<TD>セル12<TD>セル13
      </TR>
      <TR>
        <TD>セル21<TD>セル22<TD>セル23
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```



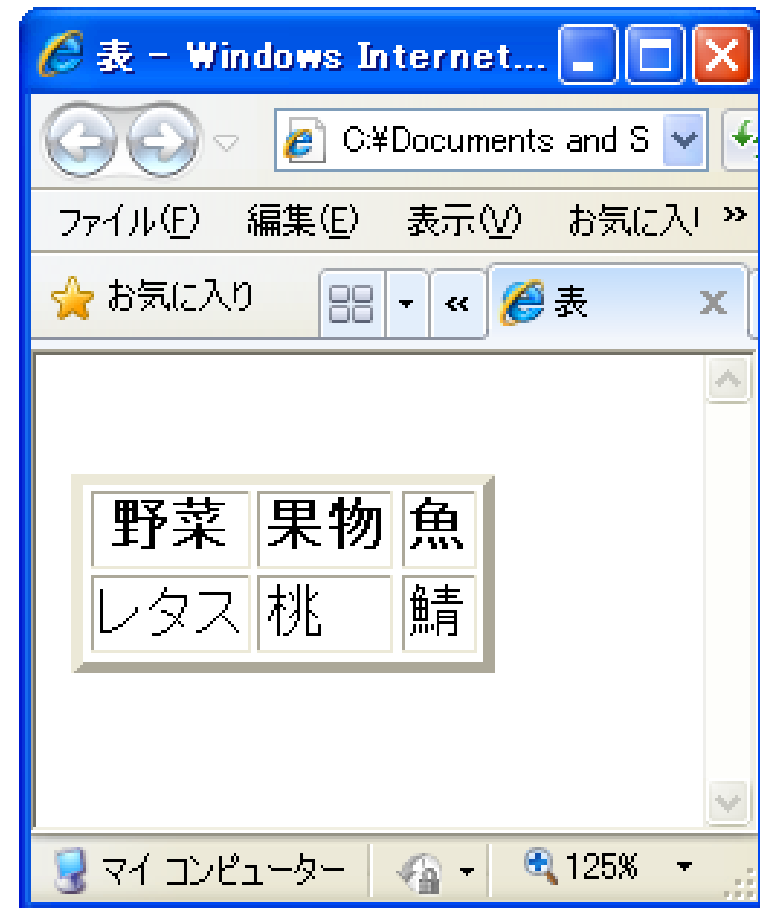
Border属性 : 指定すると表に罫線が入る  
属性値 : 枠線(外枠)の太さ(ピクセル数)

# 3. 見出し

TDのかわりにTHを使用

ひとつの表に対して先頭行または先頭列のどちらかだけに使用.

```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE border="3">
      <TR>
        <TH>野菜<TH>果物<TH>魚
      </TR>
      <TR>
        <TD>レタス<TD>桃<TD>鯖
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```

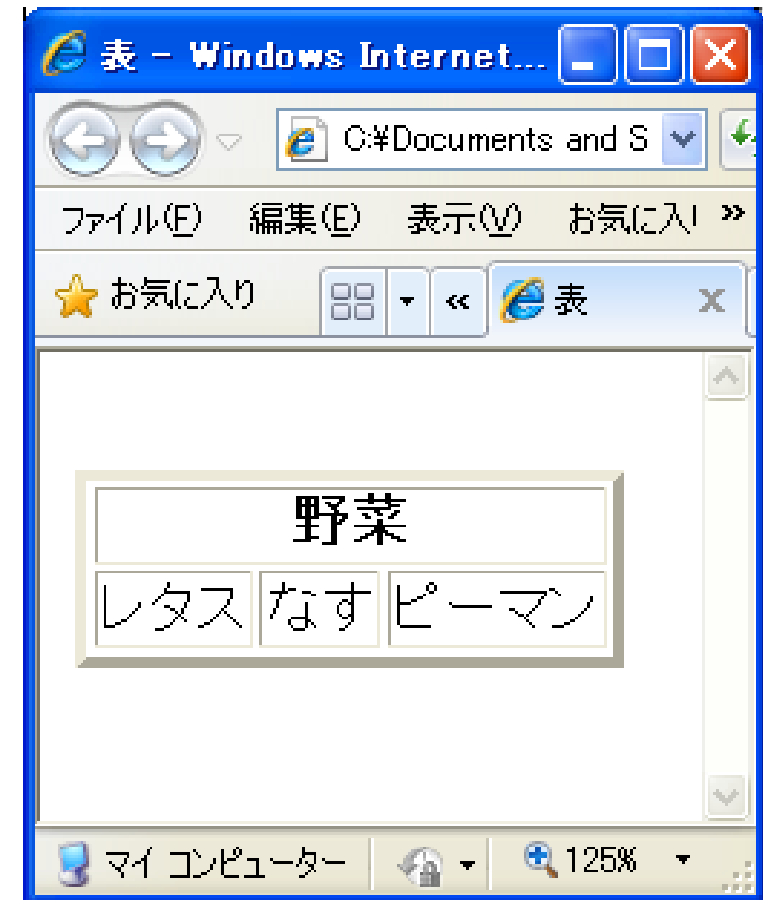


# 4. セルの結合

TD要素, TH要素に以下の属性を設定

- (1) 横のセル同士を結合する場合: colspan="結合するセル数"
- (2) 縦のセル同士を結合する場合: rowspan="結合するセル数"

```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE border="3">
      <TR>
        <TH colspan="3">野菜
      </TR>
      <TR>
        <TD>レタス<TD>なす<TD>ピーマン
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```



# 4. セルの結合②

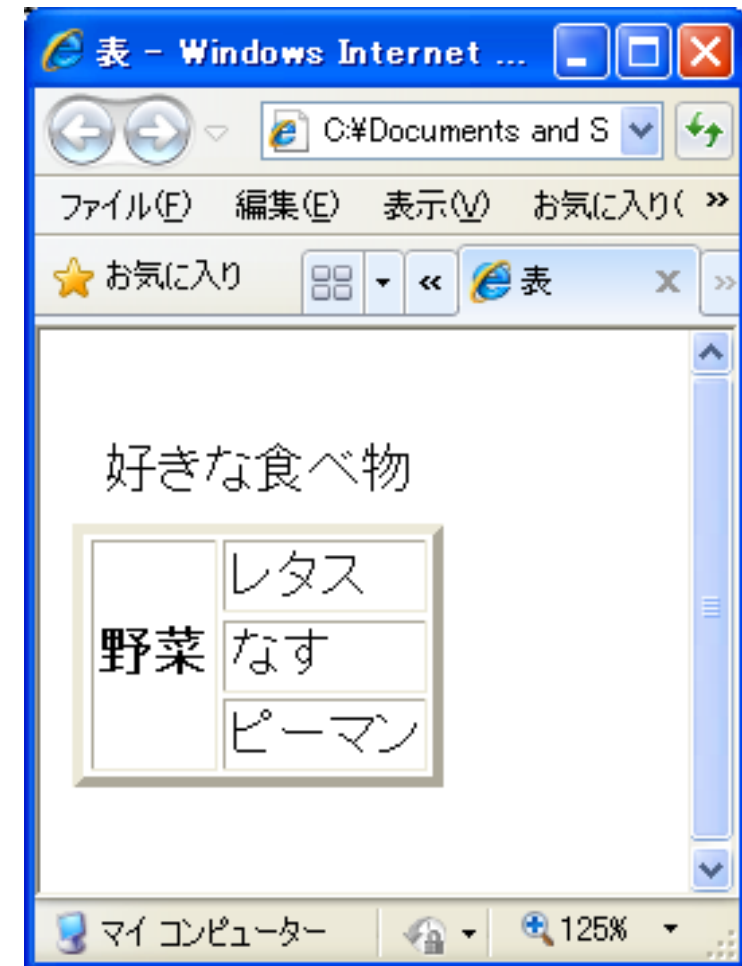
```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE border="3">
      <TR>
        <TH rowspan="3">野菜<TD>レタス
      </TR>
      <TR>
        <TD>なす
      </TR>
      <TR>
        <TD>ピーマン
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```



# 5. キャプション(表題)を付ける

## CAPTION要素を使用

```
<html>
  <head>
    <title> 表 </title>
  </head>
  <body>
    <TABLE border="3">
      <CAPTION>好きな食べ物</CAPTION>
      <TR>
        <TH rowspan="3">野菜<TD>レタス
      </TR>
      <TR>
        <TD>なす
      </TR>
      <TR>
        <TD>ピーマン
      </TR>
    </TABLE>
  </body>
</html>
```



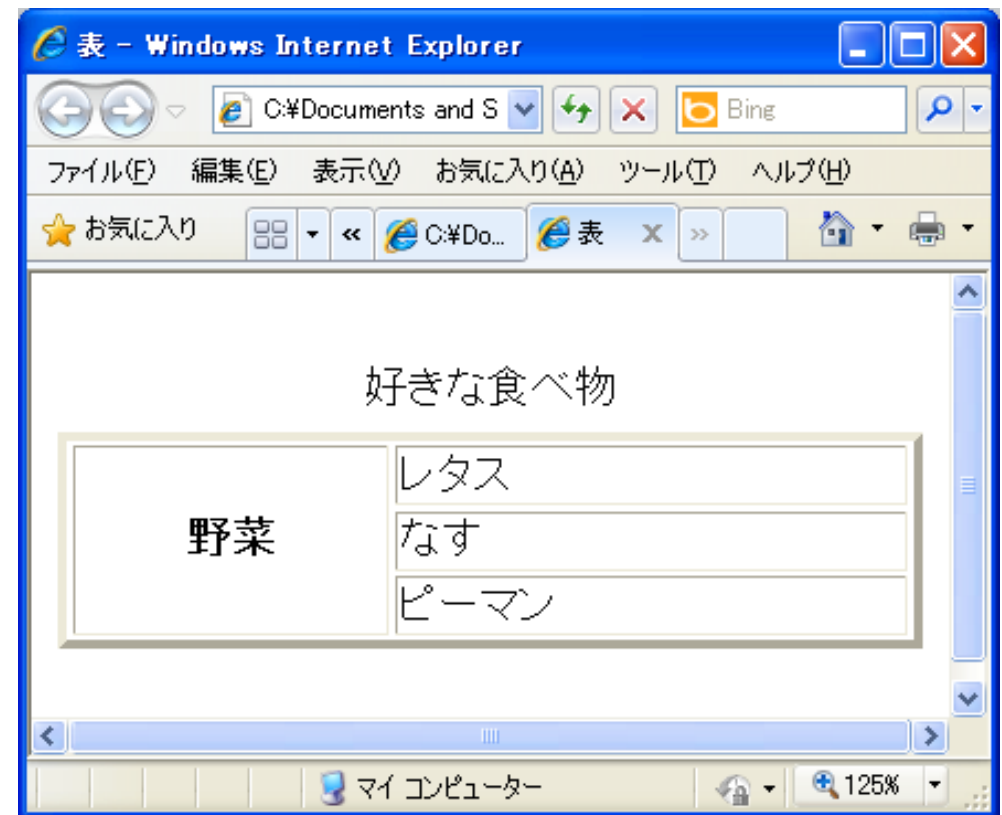
# 6. 表の横幅の設定

TABLE要素でwidth属性を指定

書式:<TABLE width="横幅">

横幅:ピクセル数あるいはウィンドウに対する割合(%)

```
<html>
<head>
  <title> 表 </title>
</head>
<body>
  <TABLE border="3" width="100%">
    <CAPTION>好きな食べ物</CAPTION>
    <TR>
      <TH rowspan="3">野菜<TD>レタス
    </TR>
    <TR>
      <TD>なす
    </TR>
    <TR>
      <TD>ピーマン
    </TR>
  </TABLE>
</body>
</html>
```

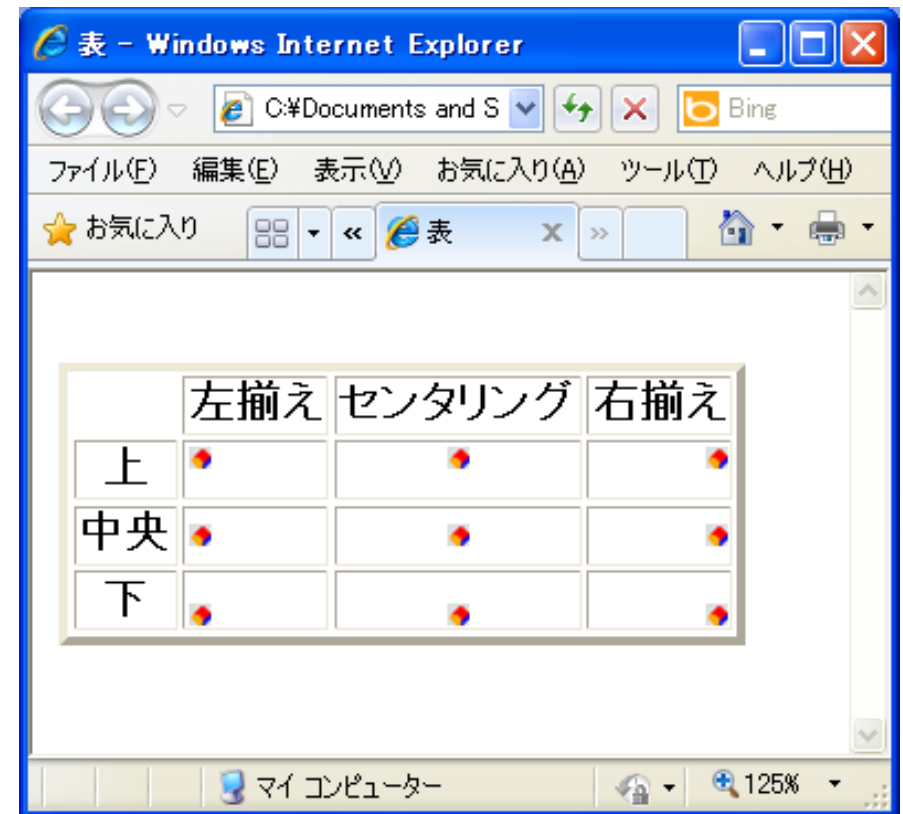


# 6. 文字位置の設定

align属性 : 横方向の位置 (left, center, right)

valign属性 : 縦方向の位置 (top, middle, bottom)

```
<html>
<head>
  <title> 表 </title>
</head>
<body>
<TABLE BORDER="3">
  <TR>
    <TH></TH>
    <TH>左揃え</TH> <TH>センタリング</TH> <TH>右揃え</TH>
  </TR>
  <TR>
    <TH>上</TH>
    <TD ALIGN="LEFT" VALIGN="TOP"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
    <TD ALIGN="CENTER" VALIGN="TOP"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
    <TD ALIGN="RIGHT" VALIGN="TOP"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
  </TR>
  <TR>
    <TH>中央</TH>
    <TD ALIGN="LEFT" VALIGN="MIDDLE"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
    <TD ALIGN="CENTER" VALIGN="MIDDLE"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
    <TD ALIGN="RIGHT" VALIGN="MIDDLE"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
  </TR>
  <TR>
    <TH>下</TH>
    <TD ALIGN="LEFT" VALIGN="BOTTOM"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
    <TD ALIGN="CENTER" VALIGN="BOTTOM"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
    <TD ALIGN="RIGHT" VALIGN="BOTTOM"><IMG SRC="cube.gif"></TD>
  </TR>
</TABLE>
</body>
</html>
```



# VII. 課題



# 1. 課題

---

自分のWebページの全世界への公開

- ① 次の要件を満たす自分のWebページのデータファイルの作成
- ② データファイルをWebサーバ(sstu.nit.ac.jp)にUP

提出方法: 自分のホームページを見れるようにすること

## 2. 要件

---

要件1: 下記の少なくとも2ページ以上の作成

- ①トップページ(index.html) ②自己紹介ページ(introduction.html)  
(補足)第3ページ目以降を作った場合, ファイル名は自由  
ただし日本語ファイル名は利用不可

要件2: トップページにH1レベルの見出しを付ける

要件3: ページのタイトルをつけること

自由なものでよいが, あまり受けをねらわない普通のもの

要件4: トップページに自己紹介ページへの「リンク」を含める

要件5: 一カ所以上文字色を変えること

要件6: 「インライン画像」を一個以上挿入すること

要件7: 自己紹介ページにもH1レベルの見出しを付ける

要件8: 自己紹介ページのタイトルを「自分の名前の自己紹介」とする

要件9: 自己紹介は表(テーブル)を用いて作成

# 3. 採点方法

- ①index.htmlページへアクセスして何か内容が表示できる
- ②index.htmlページのタイトルがタイトルバーに表示されている
- ③index.htmlページの内容がちゃんと表示できている(文字化けなどが無い)
- ④index.htmlページに見出しが付けられている
- ⑤文字色が変更されている場所がある
- ⑥インラインイメージのタグが含まれている
- ⑦インラインイメージがちゃんと表示されている
- ⑧index.html内に別ページへのリンクがある
- ⑨その別ページにちゃんとジャンプできる
- ⑩その別ページのうちの少なくとも一つはintroduction.htmlである
- ⑪introduction.htmlにもタイトルバーに表示ができる
- ⑫introduction.htmlの内容がちゃんと表示できている(文字化けなどが無い)
- ⑬introduction.htmlにも見出しがちゃんとある
- ⑭<table>を使用している
- ⑮文字化けしていない

各1点で計15点、サーバにアップロードできていない時点では0点